# Ⅳ 温排水影響調査結果(九州電力実施分) <<sup>令和元年度></sup>

## Ⅳ 目 次

1	調査概要·		 	 		IV-1
2	調査実施状	∷况·····	 	 		$\mathrm{IV}-2$
3	調査結果の	要約	 	 		IV-4
4	調査結果					
	(1)流	況	 	 •••••	• • • • • • •	IV - 8
	(2) 水	温	 	 •••••		IV - 9
	(3)水	質	 	 		IV - 27
	(4)底	質	 	 •••••		IV - 27
	(5)プラン	/クトン・・・・	 	 •••••		IV - 28
	(6)潮間帯	寺生物・・・・・	 	 •••••		IV - 28
5	経年変化 ·		 	 		IV - 29

#### 1 調査概要

玄海原子力発電所周辺海域の令和元年度調査実施概要は下表のとおりであり、調査は「玄海原 子力発電所周辺海域環境調査計画(2019年度)」に基づき実施した。

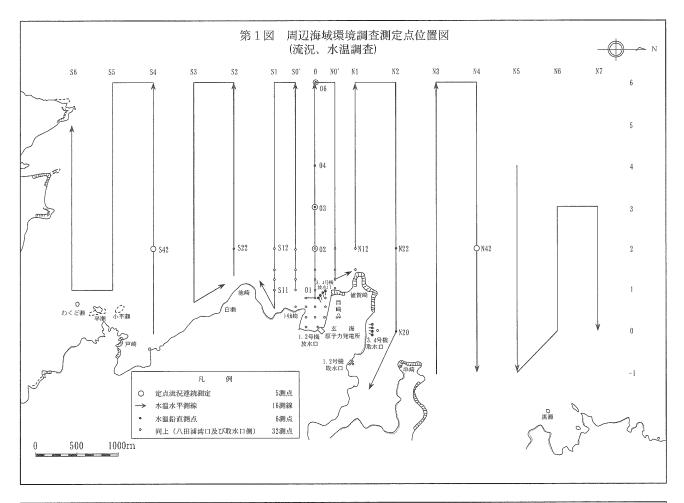
			N		
		春季	夏季	秋季	冬 季
調	查項目	R1. 5. 20~5. 21	R1. 8. 23~9. 8, 9. 13	R1. 11. 27、11. 29	R2. 2. 19∼3. 7
流	況	_	$(R1. 8. 23 \sim 9. 8)$	_	(R2. 2. 19 $\sim$ 3. 6)
水	温	(R1. 5. 20)	(R1. 8. 31)	(R1. 11. 27)	(R2. 2. 24)
水	質	(R1. 5. 21)	(R1. 9. 13)	(R1. 11. 29)	(R2. 2. 23)
底	質		(R1. 8. 24)		(R2. 2. 19)
プ	ランクトン		(R1. 9. 13)		(R2. 2. 23)
潮	間带生物	_	$(R1. 8. 29 \sim 8. 30, 9. 1)$	_	$(R2. 2. 25 \sim 2. 26, 3. 7)$
発	1号機		平成 27 年 4 月 2	27日 運転終了	
電 所	2号機	第 23	3回定期検査(平成3	1年4月9日 運転終	了)
運転状況	3号機	第14回定期検査	通常運転	通常運転	通常運転
況	4号機	通常運転	第12回定期検査	通常運転	通常運転
	定格熱出力	一定運転導入時期	(参考	)	
	3号機	: 平成15年3月7	7日 1号相	幾 : 平成23年12月	11日から停止中
		: 平成14年11月1			129日から停止中
	T 'J Ίλλι	· / //////////////////////////////////	3号桥		
			U C U	A	13日から 月22日まで停止
			4 号柄		
			4 万代		10日から 124日まで停止
				14 YHフロイナ 10 /5	
L			and a second		

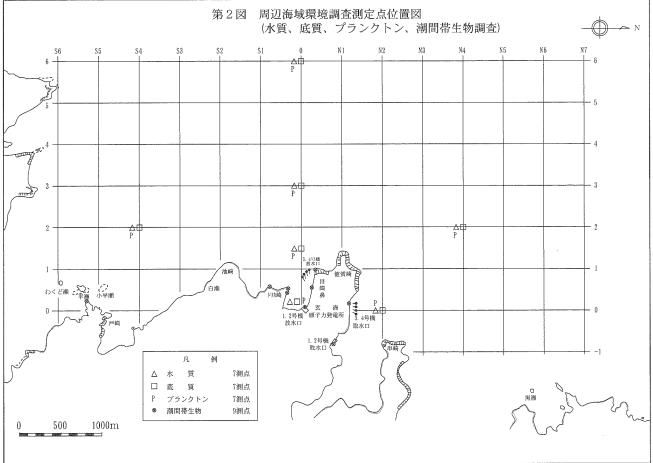
## 2 調查実施状況

#### 調査測定点位置を第1図及び第2図に示す。

調査項目	内 容	調査方法及び使用機器	点数	観測層
流況	流 向 流 速	定点流況 15 日間連続測定 (JFE アレック(現 JFE アドバンテック)INFINITY-EM 電磁流速計)	5 測点	海面下 2m層
	水平分布	曵航式による連続測定 (三洋測器MTR−6メモリー多層水温計)	16 測線	海面下 1m層
水温	鉛直分布	電気伝導度水温水深計による測定 (アレック電子(現 JFE アドバンテック) AST1000 型水温計)	38 測点	海面下 0.3、1~10m は1m間隔、10m以深 は5m間隔、最深は海 底上1m
		バンドーン採水器による採水		
	水 温	電気伝導度水温水深計による測定		海面下 0.5、3、8、20
	塩 分	サリノメーター法		mの4層
	水素イオン濃度	ガラス電極法		ただし、放水口周辺
水 質	溶存酸素量	よう素滴定法	7 測点	の2測点は、海面下 0.5、3、8m
	化学的酸素要求量	アルカリ性過マンガン酸カリウムによる酸素消費量		(水深が8m以浅の
	濁 度	カオリン標準溶液による吸光光度法		場合は、海底上1m) の3層
	クロロフィルー a	ユネスコ法による吸光光度法	-	
		スミス・マッキンタイヤー型採泥器による採泥	J	
底 質	化学的酸素要求量	過マンガン酸カリウムによる酸素消費量	7	表層土を3回採泥し、 混合して試料とする。
	粒度	ふるい分け及び沈降法	測点	
プラン	植物	バンドーン採水器により 100 採水し 48 時間沈殿	7	海面下 0.5、3、8、15 mの4層 ただし、放水口周辺 の2測点は、海面下 0.5、3、8m (水深が8m以浅の 場合は、海底上1m) の3層
クトン	動物	北原式閉鎖型定量ネット (NXX13)	測点	海面下0~10、10~20 mの2層 ただし、放水口周辺 の2測点は、海面下 0~10m(水深が 10 m以浅の場合は、海 面下0~海底上1 m)の1層
潮間帯 生 物	植 物 動 物	ベルトトランセクト法	9 測点	潮間帯

注) 1、2号機の取放水方式は「深層取水」・「表層放流」としている。 3、4号機の取放水方式は「深層取水」・「水中放流」としている。





3 調査結果の要約

### (1) 春 季

a 水 温

(a) 水平分布

18~19℃台の範囲にあり、放水口前面から平瀬前面にかけて19℃台の水温が分布してお り、温排水拡散域は認められなかった。

(b) 鉛直分布

18~19℃台の範囲にあり、放水口から沖合にかけて下層に向かうにつれて徐々に降温し ていた。

b 水 質

各項目ともに過去の調査結果と同程度であった。

- ・水温
- ・塩分
- : 18. 5~19. 2℃・化学的酸素要求量: 0. 3~0. 4 mg/0: 34. 28~34. 56・濁度: <0. 5~0. 6 度</td>

  - ・クロロフィルーa:0.2~0.8µg/ℓ
- ・水素イオン濃度 :8.1 溶存酸素量 : 8.0~8.1 mg/Q
- c まとめ

温排水拡散域は認められず、水質は過去の調査結果と同程度であった。

#### (2)夏季

a 流 況

流向は、放水口前面の測点 02 では北北西から北北東と西を主体とした流れがみられ、その 他の測点では北北西から東北東を主体とした流れがみられた。

流速は、海域全体で 0~100 cm/s 台の範囲にあり、全般的に沖合の北側海域でやや速く、 陸側で 10~30 cm/s の流れが主にみられた。

これは、過去の調査結果と同程度であった。

#### b 水 温

(a)水平分布

25~27℃台の範囲にあり、放水口前面に 26~27℃台の水温が分布しており、温排水拡散 域は認められなかった。

(b)鉛直分布

・塩分

23~27℃台の範囲にあり、放水口から沖合にかけて下層に向かうにつれて徐々に降温していた。

c 水 質

各項目ともに過去の調査結果と同程度であった。

- ・水温 : 24.9~26.0℃ ・化学的酸素要求量: 0.4~0.5 mg/0
  - : 33. 09~33. 43 ・濁度 :定量限界 (0.5 度未満)
- ・水素イオン濃度 : 8.1 ・クロロフィルーa: 0.4~1.4µg/0
- 溶存酸素量
   : 6.4~6.9 mg/Q
- d 底 質

各項目ともに過去の調査	結	果。	と同程	度であった。	
· 化学的酸素西求量	•	1	$3 \sim 3$	/ mg/g 乾泥	

167	一和一般不安不里	•	1.0 0.1	ms/ 8 +41/L		
・粒度	を (礫分)	•	0~14%	(粗砂分)	:	$2\sim\!64\%$
	(細砂分)	:	$16 \sim 75\%$	(シルト+粘土+コロイド分)	•	$6\sim\!32\%$

- e プランクトン
- (a) 植物

5	A項目ともに過去の調査	「結果と同程度であった	*	
	項目としに過去の調査	「個木に同住反てのフィ	<u> </u>	
	<ul> <li>沈殿量:取水口側</li> </ul>	18 ml /m³	放水口側	$21 \text{ m}\ell / \text{m}^3$
	・種類数:取水口側	34 種	放水口側	29 種
	・細胞数:取水口側	14.2×10 <sup>4</sup> 細胞/0	放水口側	15.5×10 <sup>4</sup> 細胞/0
) 重	力 物			

(b)動物

各項目ともに過去の調査結果と同程度であった。

- ・沈殿量:取水口側 2.1 m0 /m<sup>3</sup> 放水口側 4.2 m0 /m<sup>3</sup>
  - ・種類数:取水口側 29種 放水口側 28種
- ・個体数:取水口側 10,425 個体/m<sup>3</sup> 放水口側 32,158 個体/m<sup>3</sup>
- f 潮間帯生物

各項目ともに過去の調査結果と同程度であった。<br/>・出現種類数:植物34種、動物61種

g まとめ

温排水拡散域は認められず、水質、底質、プランクトン、潮間帯生物は過去の調査結果と 同程度であった。

#### (3)秋 季

## a 水 温

(a) 水平分布

18~21℃台の範囲にあり、放水口前面から値賀崎前面に 20~21℃台の水温が分布しており、温排水拡散域は認められなかった。

(b) 鉛直分布

19~21℃台の範囲にあり、放水口から沖合にかけて下層に向かうにつれて徐々に降温していた。

b 水 質

各項目ともに過去の調査結果と同程度であった。

- ・水温
- · 塩分 : 33. 77~34. 28
- : 19.7~20.1℃ ·化学的酸素要求量: 0.2~0.4 mg/0
  - 濁度
     : <0.5~0.5 度</li>
  - ・クロロフィル−a:0.2~1.0µg/ℓ
- ·水素イオン濃度 : 8.1~8.2
   ·溶存酸素量 : 7.5~7.7 mg/0
- c まとめ

温排水拡散域は認められず、水質は過去の調査結果と同程度であった。

#### (4) 冬 季

a 流 況

流向は、放水口前面の測点02では西南西から西北西と北を主体とした流れがみられ、その 他の測点では北から東北東と南西から西北西を主体とした流れがみられた。

流速は、海域全体で 0~70 cm/s 台の範囲にあり、全般的に沖合の北側海域でやや速く、陸 側で 10~20 cm/s の流れが主にみられた。

これは、過去の調査結果と同程度であった。

#### b 水 温

(a) 水平分布

13~16℃台の範囲にあり、放水口前面から値賀崎前面に 14~16℃台の水温が分布しており、温排水拡散域は放水口周辺で認められた。

(b) 鉛直分布

13~16℃台の範囲にあり、放水口前面周辺を除くと上層と下層でほぼ等温状態にあった。

c 水 質

各項目ともに過去の調査結果と同程度であった。

- ・水温 : 14.2~15.8℃
  ・塩分 : 34.12~34.52
  ・水素イオン濃度 : 8.2
  ・溶存酸素量 : 8.7~9.0 mg/0
  ・化学的酸素要求量: 0.2~0.3 mg/0
  ・濁度 : (0.5 度
  ・クロロフィル-a: 0.3~1.9µg/0
- d 底 質

各項目ともに過去の調査結果と同程度であった。

・化学的酸素要求量	•	0. 9∼3. 9 mg/g	乾泥		
・粒度(礫分)	•	$0 \sim 8\%$	(粗砂分)	•	$1 \sim 63\%$
(細砂分)	:	$26 \sim 59\%$	(シルト+粘土+コロイド分)	•	$6 \sim 44\%$

#### e プランクトン

#### (a) 植物

・沈殿量:	取水口側	$38 \text{ m}\ell / \text{m}^3$	放水口側	$25 \text{ m}\ell / \text{m}^3$
・種類数:	取水口側	20 種	放水口側	17種
·細胞数:	取水口側	6.9×10 <sup>4</sup> 細胞/0	放水口側	5.4×10 <sup>4</sup> 細胞/0

(b)動物

各項目ともに過去の調査結果と同程度であった。

0	沈殿量:	取水口側	30. 7 m $\ell /m^3$	放水口側	30.0 ml /m³
8	種類数:	取水口側	20 種	放水口側	17 種
•	個体数:	取水口側	8,025 個体/m <sup>3</sup>	放水口側	10,132個体/m <sup>3</sup>

f 潮間帯生物

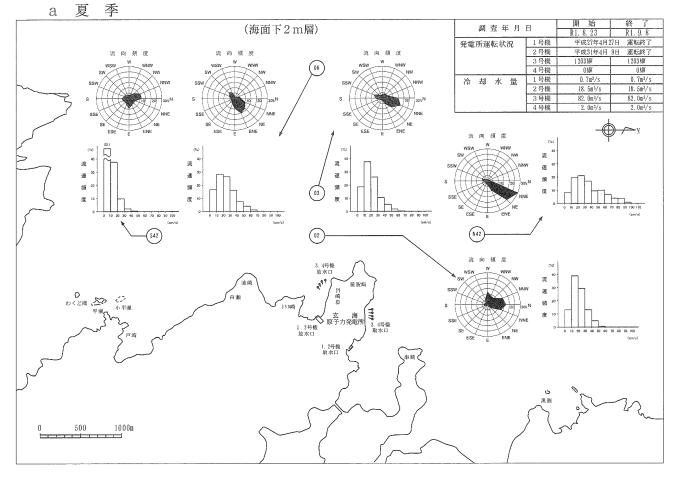
各項目ともに過去の調査結果と同程度であった。 ・出現種類数:植物34種、動物53種

g まとめ

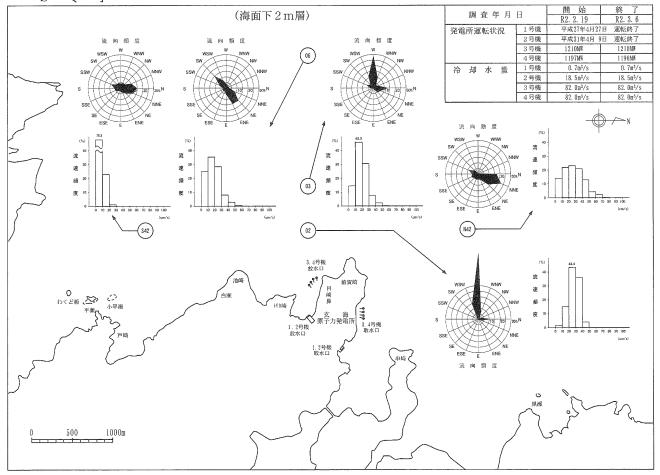
温排水拡散範囲は放水口周辺に限られ、また、流況、水質、底質、プランクトン、潮間帯 生物は過去の調査結果と同程度であった。

#### 4 調査結果

## (1)流 況



b 冬 季



(2)水 温

調査時諸元表

		時 期	3	<u>啊且</u> 可咱儿 春  季		Į	夏季	2
項目	1	単位	満 潮 時	下げ潮時	干潮時	満 潮 時	下げ潮時	干潮時
測定	年月日		令禾	口元年5月20	)日	令禾	口元年8月31	
測 定	時間		$09:30 \sim 10:29$	$12:45\sim 13:52$	$15:30 \sim 16:36$	$09:30 \sim 10:35$	$12:30\sim 13:30$	$15:30\sim \\ 16:33$
	1 号 機	MW						
出力	2 号 機	MW	0	0	0	0	0	0
Ш Л	3 号 機	MW	0	0	0	1204	1204	1203
	4 号 機	MW	1197	1197	1198	0	0	0
	1 号 機	m³∕s	0. 7	0. 7	0. 7	0. 7	0. 7	0. 7
冷却水量	2 号 機	m³∕s	18.5	18.5	18.5	18.5	18.5	18.5
印码小里	3 号機	m³∕s	2. 0	2. 0	2. 0	82.0	82.0	82.0
	4 号 機	m³∕s	82.0	82.0	82.0	2. 0	2. 0	2. 0
1、2 号機耳	<b>文水口側水</b> 温	°C	18.8	18.9	18.9	26.1	26.1	26.2
1、2 号機方	女水口側水温	°C	18.8	18.9	18.9	25.7	25.9	26.2
1、2 号機取	放水口水温差	°C	0.0	0. 0	0. 0	-0.4	-0.2	0.0
3号機取	水口側水温	°C	18.7	19.0	18.9	25.7	25.6	25. 7
3号機放	水口側水温	°C	20. 0	20. 1	20. 1	32.5	32.4	32.5
3号機取力	改水口水温差	°C	1. 3	1. 1	1. 2	6. 8	6.8	6. 8
4号機取	水口側水温	°C	18.7	18. 7	18. 7	25.5	25.5	25.5
4号機放	水口側水温	°C	25.7	25.7	25.7	27.5	27.5	27.5
4号機取加	放水口水温差	°C	7.0	7.0	7. 0	2. 0	2. 0	2. 0
	気 温	°C	20. 0	. 19.6	19. 2	26.6	28.4	27.4
	風向		W	W	SW	S	WSW	WSW
海象	風速	m∕s	6. 0	5.1	5. 2	5.6	5. 7	8. 7
	海沉		静穏	やや波あり	やや波あり	静穏	静穏	やや波あり
	潮 位	сm	$233 \sim 235 \\ \sim 231$	143~83	$21 \sim 12 \\ \sim 13$	$280 \sim 282 \\ \sim 273$	181~115	$24 \sim 18 \\ \sim 21$

注) 1. 平成 27 年 4 月 27 日
 1 号機運転終了
 2. 平成 31 年 4 月 9 日
 2 号機運転終了

調査時諸元表

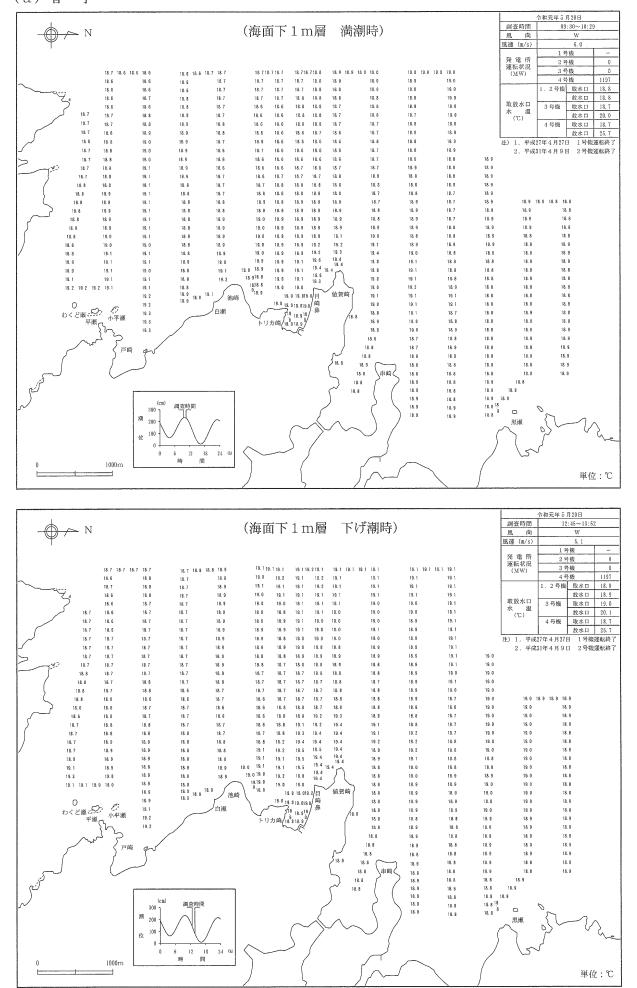
		時 期	Ę	調宜時			冬 季	2
項目		単 位	満 潮 時	下げ潮時	干潮時	満 潮 時	下げ潮時	干潮時
測定	年月日		令和	元年 11 月 2	7日	令利	日2年2月24	1日
測 定	時 間		$09:30 \sim 10:42$	$12:30\sim 13:34$	$15:00\sim$ 16:06	10:00~ 11:11	13:00~ 14:06	$15:30 \sim 16:38$
	1 号 機	MW						
出力	2 号 機	MW	0	0	0	0	0	0
шл	3 号 機	MW	1205	1205	1204	1211	1212	1211
	4 号 機	MW	1194	1194	1193	1197	1198	1197
	1 号 機	m³∕s	0. 7	0. 7	0. 7	0. 7	0. 7	0. 7
冷却水量	2 号 機	m³∕s	18.5	18.5	18.5	18.5	18.5	18.5
山孙小重	3 号 機	m³∕s	82. 0	82. 0	82. 0	82. 0	82.0	82. 0
	4 号 機	m³∕s	82. 0	82. 0	82.0	82.0	82.0	82. 0
1、2 号機耳	<b>文水口側水温</b>	°C	20. 1	20.0	20. 0	14. 7	14. 9	14. 9
1、2 号機方	女水口側水温	°C	20. 1	20. 0	20. 0	14. 4	14. 9	14. 8
1、2 号機取	放水口水温差	°C	0. 0	0. 0	0. 0	-0. 3	0. 0	-0.1
3号機取	水口側水温	°C	20. 0	20. 0	20. 0	14. 6	14. 6	14. 6
3号機放	水口側水温	r	26.9	26.9	26.9	21.6	21.6	21.6
3 号機取加	改水口水温差	°C	6. 9	6. 9	6. 9	7.0	7.0	7.0
4号機取	水口側水温	°C	20. 0	20. 0	20. 0	14.6	14. 6	14. 6
4号機放	水口侧水温	°C	26.9	26.9	26.9	21.4	21.3	21.4
4号機取加	改水口水温差	°C	6. 9	6. 9	6. 9	6.8	6. 7	6. 8
	気 温	°C	16.2	17.4	17. 2	12.6	18.0	16.6
	風向		NW	ΝE	N	SSE	W	SW
海象	風速	m∕s	4. 0	6. 0	8. 0	4. 1	4. 2	7.9
	海 況		静穏	静穏	やや波あり	静穏	静穏	静穏
	潮位	сm	$224 \sim 228 \ \sim 221$	157~108	66~63~67	$192 \sim 194 \\ \sim 187$	124~75	$37 \sim 35 \\ \sim 40$

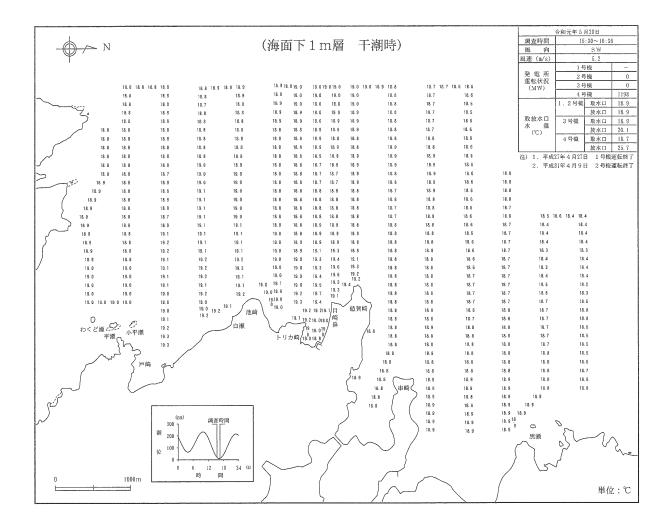
注) 1. 平成 27 年 4 月 27 日 1 号機運転終了

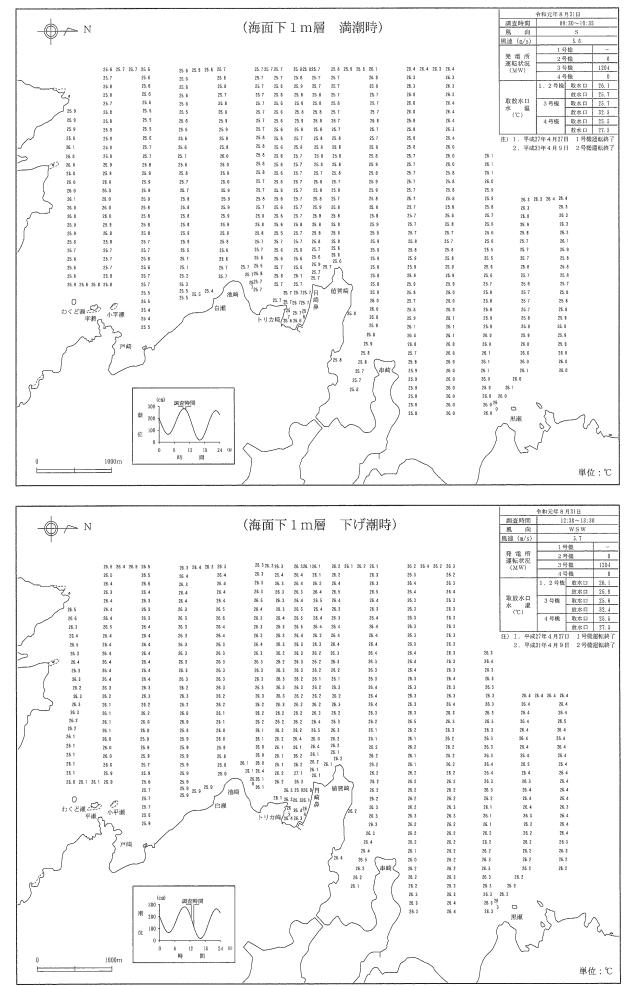
2. 平成 31 年4月9日 2号機運転終了

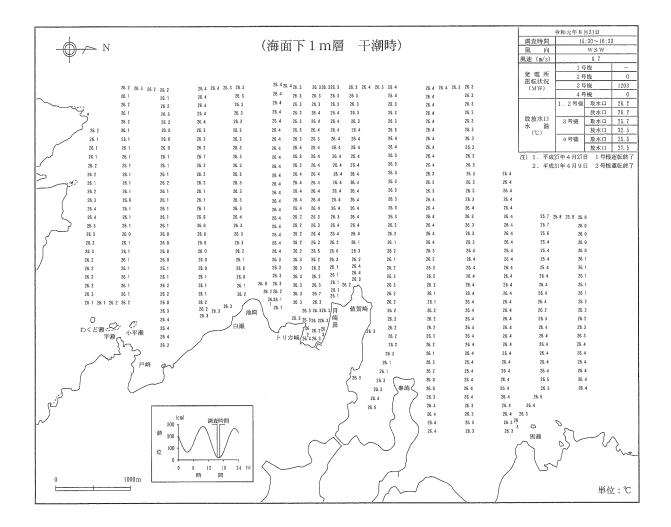
a 水温水平分布

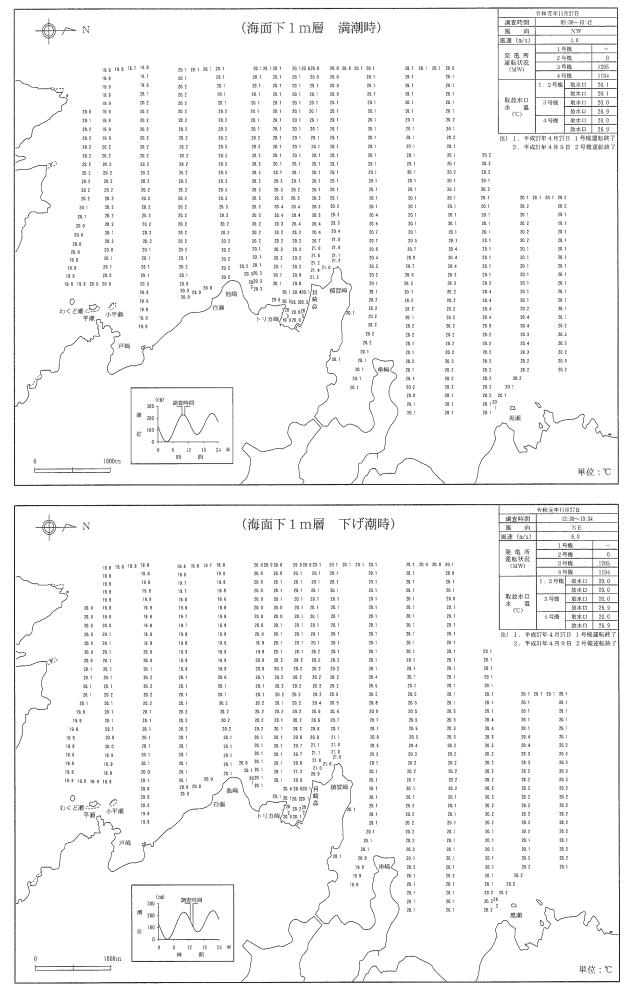
(a) 春 季

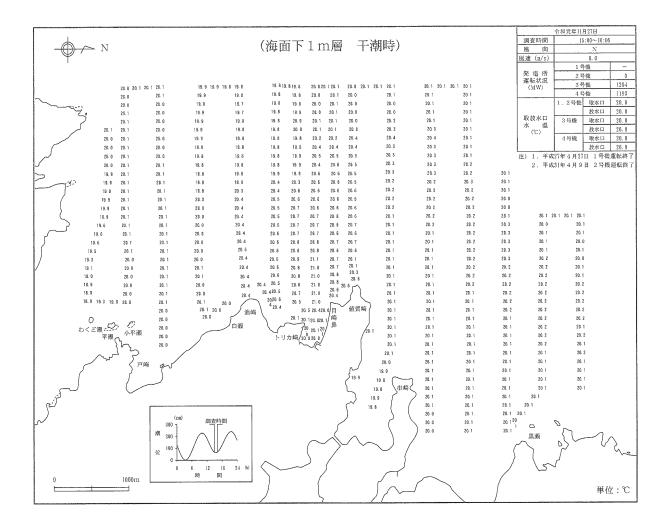


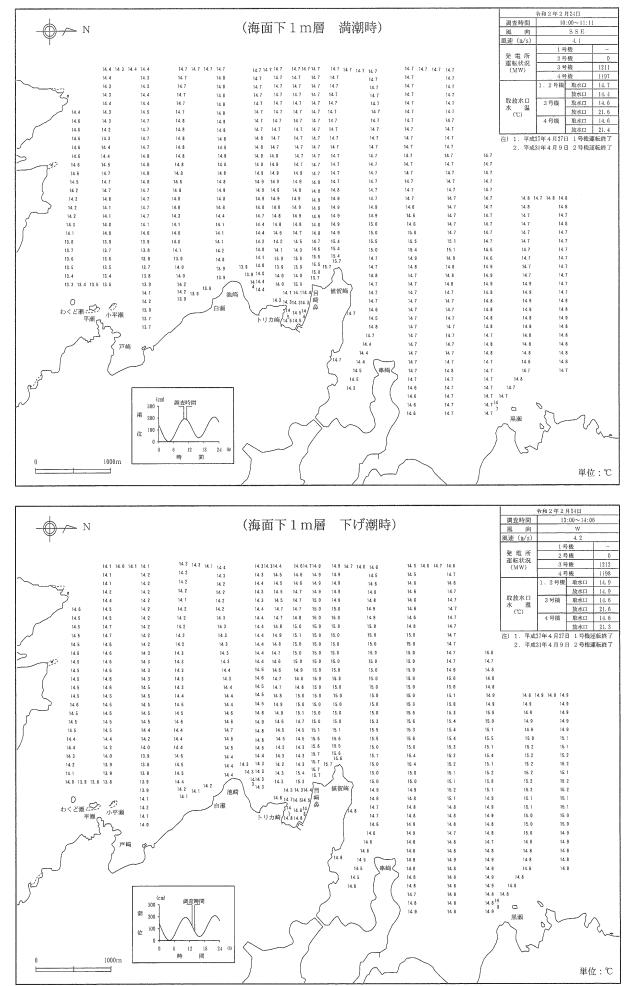


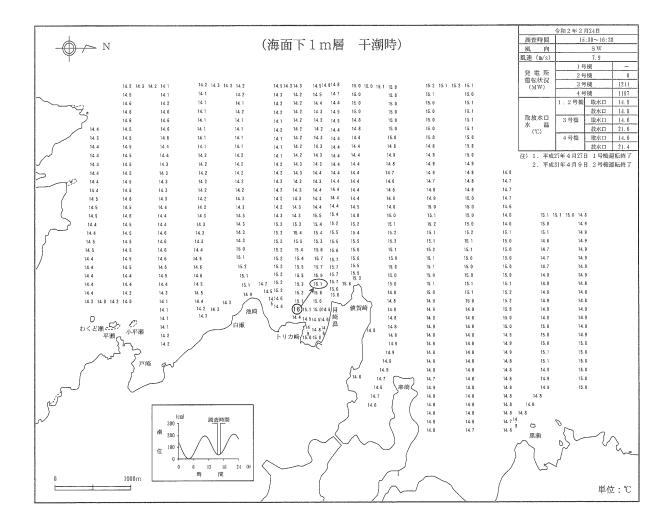




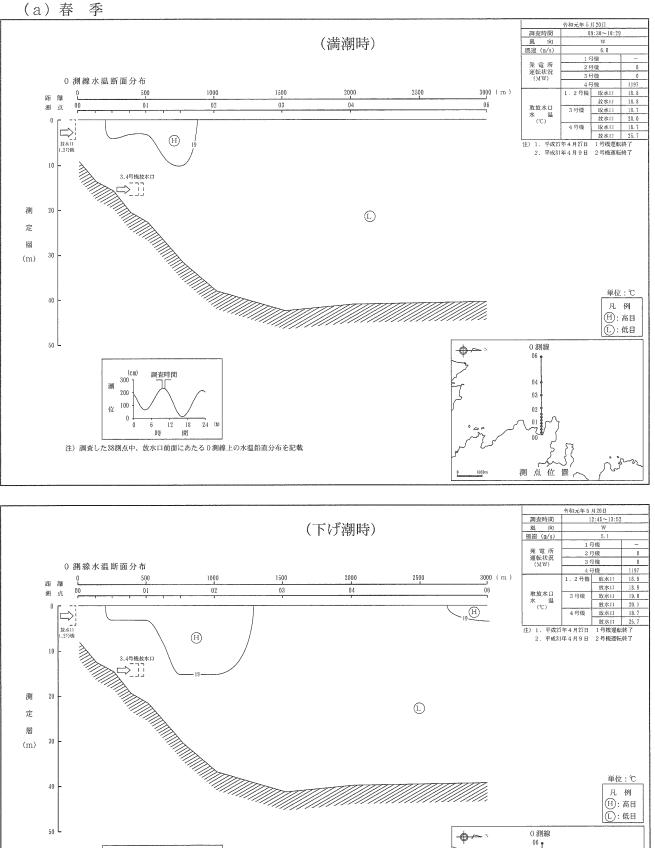








b 水温鉛直分布



04

03

02 01

7**.** 

ふへ 位 っ 測点

置

ícm

ò 6 12

時

300

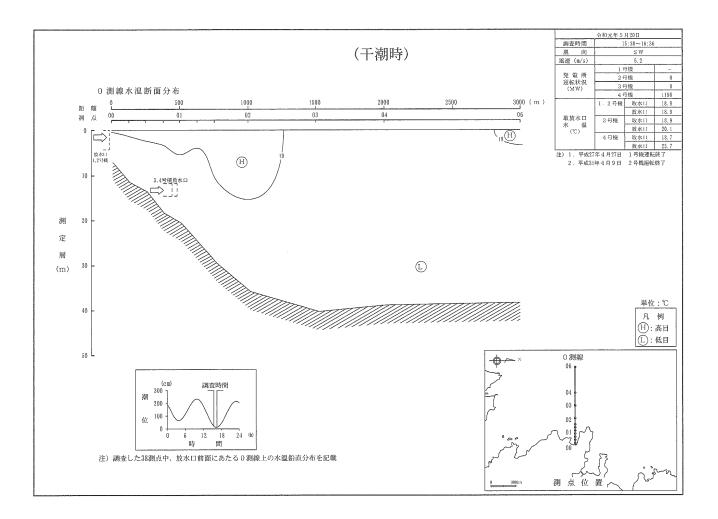
100 位

潮 200 調査時間

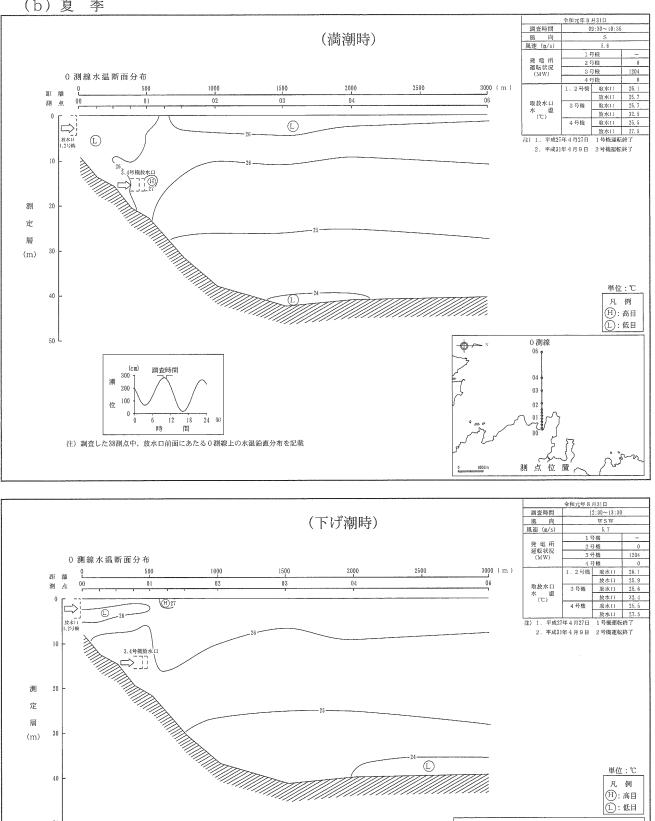
\_\_\_\_\_\_ 問

注)調査した38測点中、放水口前面にあたる0測線上の水温鉛直分布を記載

24 (h

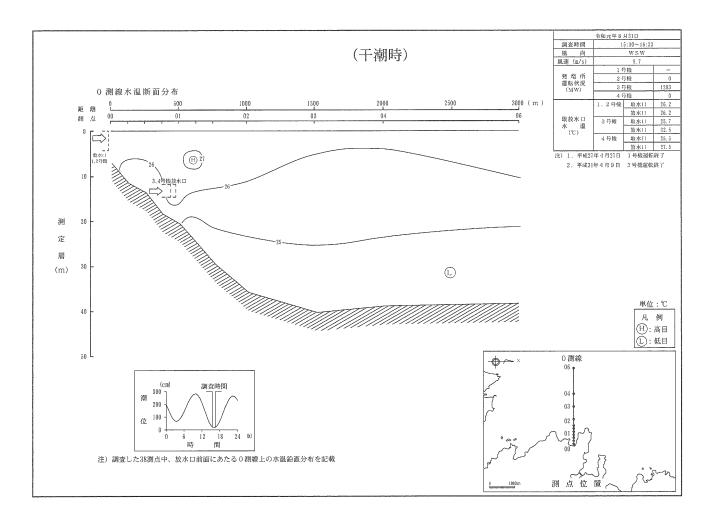


(b)夏 季

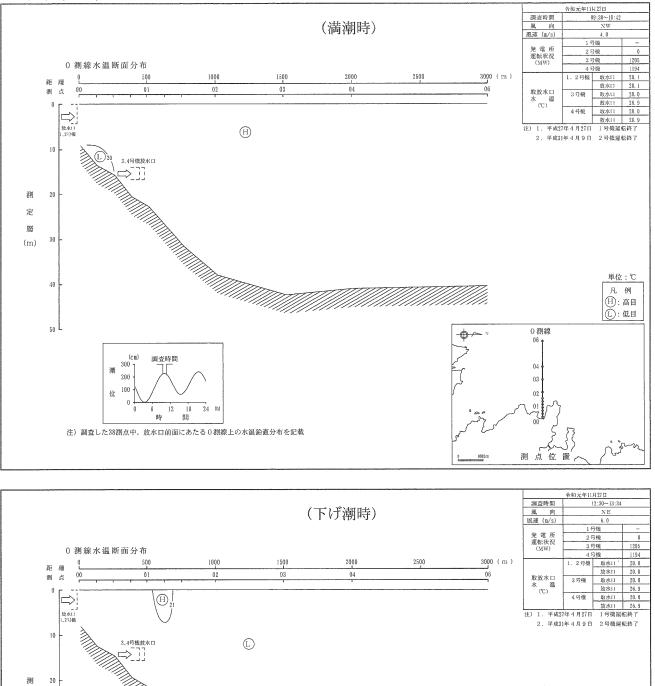


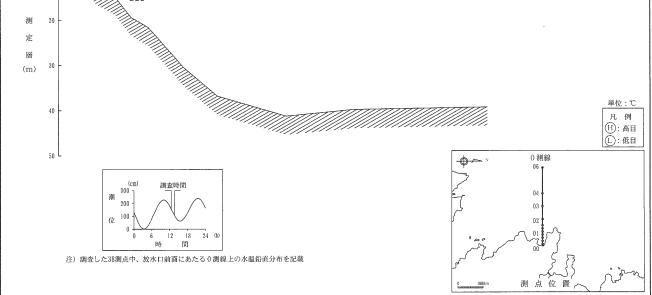


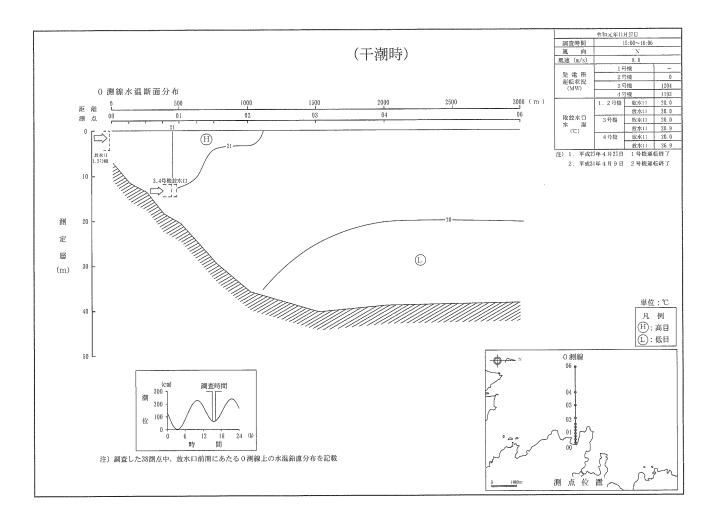
IV - 21



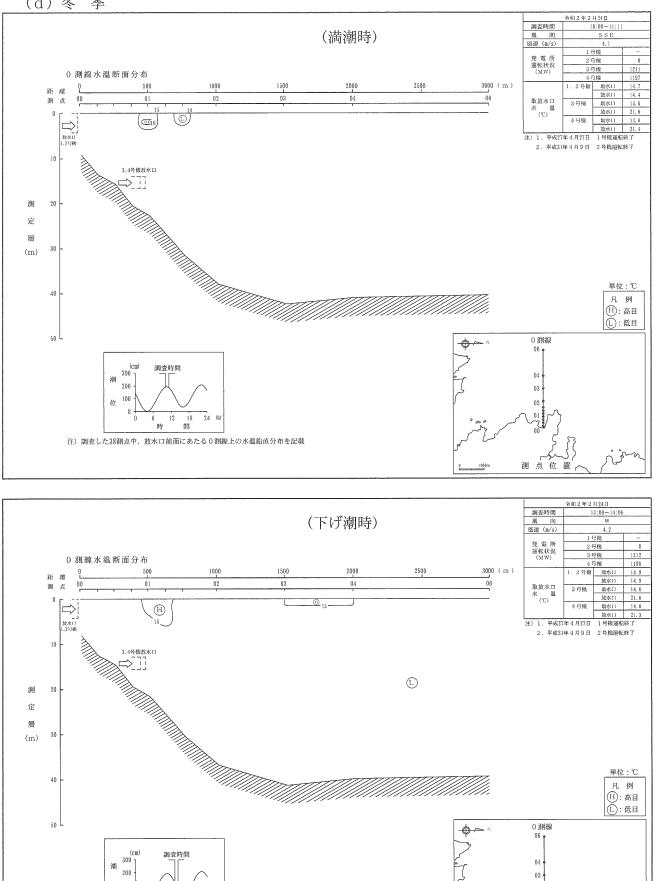
(c)秋 季







(d)冬季



02

01

7**%** 

测点位置

100

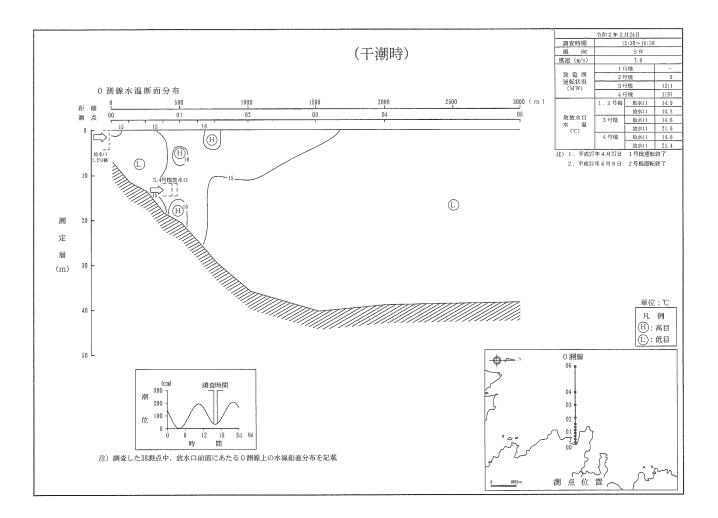
18 間 12

注)調査した38測点中、放水口前面にあたる0測線上の水温鉛直分布を記載

時

24 (h)

位



(3)水 質

			調査	年月日	春	季	夏	季	秋	季	冬	季
項	目				令和元年	5月21日	令和元年;	9月13日	令和元年	11月29日	令和2年:	2月23日
水			温	(°C)	18.5 ~ 18.		$\begin{array}{r} 24.9 \sim \\ 25. \end{array}$		19.7 ~ 19		14. 2 ~ 14.	
塩			分	(-)	34. 28 ~ 34.		33. 09 ~ 33. 1		33. 77 ~ 34.		$\begin{vmatrix} 34. & 12 \\ & 34. \end{vmatrix}$	
水素	「 」 ア		度	(-)	8.	1	8.	1	8. 1 ~ 8.		8.	2
溶存酚	酸	素	量	(mg/0 )	8.0~ 8.		6.4~ 6.		7.5 ~ 7.		8.7~ 8.	
酸 素 量	飽	和	度	(%)	101. 1 ~ 10		90. 4 ~ 94.		96. 3 ~ 97		$\begin{array}{c}103.6\\105\end{array}$	
R .	的酸素 COD			(mg/0 ) 生法)	0.3~ 0.		0.4~ 0.4		0. 2 ~	~ 0.4 2	0. 2 ~ 0.	
濁			度	(度)	<0.5 ~ <0.		<0.	5	<0.5 <0		<0.	5
クロ	コロフィ	1ルー :	a (µ	g/0)	0. 2 ~ 0.		0.4~ 0.		0. 2 ~		0.3~	

注)上段は分析値の範囲、下段は平均値を示す。 塩分は標準溶液との電気伝導度の比で定義されている。

(4)底質

	調査年月日	夏季	冬 季
項目		令和元年8月24日	令和2年2月19日
化学的酸 C C	素要求量 (mg/g乾泥) )D	$1.3 \sim 3.4$ 2.4	$\begin{array}{cccc} 0. \ 9 \ \sim \ 3. \ 9 \ 2. \ 5 \end{array}$
	礫 分 (2.0mm以上)	$0 \sim 14$ 5	$0 \sim 8$ $3$
粒 度	粗 砂 分 (0.425~2.0mm)	$2 \sim 64$ 25	$1 \sim 63$ 28
(%)	細砂分 (0.075~0.425mm)	$\begin{array}{rrr} 16 \ \thicksim \ 75 \\ 51 \end{array}$	$\begin{array}{ccc} 26 & \sim & 59 \\ & 45 \end{array}$
	シルト・粘土・コロイド分 (0.075mm以下)	$\begin{array}{ccc} 6 & \sim & 32 \\ & 19 \end{array}$	$\begin{array}{ccc} 6 & \sim & 44 \\ & 24 \end{array}$

注)上段は分析値の範囲、下段は平均値を示す。

(5) プランクトン

	調査年月日	夏 季(令和元	年9月13日)	冬季(令和2	年2月23日)
項	目 測 点	取水口側	放水口側	取水口側	放水口側
沈	採水法(ml/m³)	18	21	38	25
沈殿量	ネット法 (mℓ /m³)	2. 1	4. 2	30. 7	30. 0
種類数	植物プランクトン(採水法)	34	29	20	17
類数	動物プランクトン(ネット法)	29	28	20	17
主 プ 要ン	植物プランクトン(採水法)	<ul> <li>Prasinophyceae</li> <li>Haptophyceae</li> <li>Thalassiothri.</li> <li>(タラシオスリックス フロエン)</li> </ul>	いプト藻類) x frauenfeldii		
y 構 成	動物プランクトン(ネット法)	<ul> <li>・かいあし類の)</li> <li>・Microsetella</li> <li>コペポダイト期纹</li> <li>・Oithona(はイトナ)</li> <li>期幼生</li> </ul>	(ミクロセテラ) 属の 1生	<ul> <li>かいあし類の)</li> <li>Paracalanus() コペポダイト期纹</li> <li>Oithona(オイトナ) 期幼生</li> </ul>	<sup>°</sup> ラカラヌス) 属の 生
植 プランクトン	細胞数×104/0 (採水法)	14. 2	15. 5	6. 9	5. 4
動 プランクトン 物	個体数/m <sup>3</sup> (ネット法)	10, 425	32, 158	8, 025	10, 132

注)採水法の沈殿量、植物プランクトンの種類数及び細胞数は、取水口側は1測点の4層の平均値、放水口側は2測点の3層の平均値 ネット法の沈殿量、動物プランクトンの種類数及び個体数は、取水口側は1測点の2層の平均値、放水口側は2測点の1層の平均値

(6) 潮間帯生物

一一一一	£年月		夏 季	冬 季
項目	<u>.</u> +Л		令和元年8月29日~8月30日、 9月1日	令和2年2月25日~26日、 3月7日
山田呑拓粉	植	物	34	34
出現種類数	動	物	61	53
主要構成種	植	物	<ul> <li>・サビ亜科</li> <li>・モサズキ属</li> <li>・サンゴモ亜科</li> <li>・テングサ科</li> <li>・イワノカワ科</li> <li>・アオサ属</li> <li>・イソガワラ科</li> <li>・アミジグサ科</li> <li>・ヒメテングサ</li> <li>・アラメ</li> <li>・藍藻綱</li> <li>・イシゲ</li> <li>・ウミトラノオ</li> <li>・イギス科</li> <li>・ヒジキ</li> </ul>	<ul> <li>・サビ亜科</li> <li>・シワノカワ</li> <li>・藍藻綱</li> <li>・ハバノリ属</li> <li>・サンゴモ亜科</li> <li>・ヒジキ</li> <li>・イワノカワ科</li> <li>・イシゲ</li> <li>・ヒメテングサ</li> <li>・アマノリ属</li> <li>・イゾガワラ科</li> <li>・イギス科</li> <li>・テングサ科</li> <li>・ソゾ属</li> <li>・アオサ属</li> <li>・ウミトラノオ</li> </ul>
	動	物	・ヒザラガイ ・イボニシ ・シロガイ属 ・イワフジツボ ・カメノテ ・ヤッコカンザシ ・クロフジツボ ・アラレタマキビ	・シロガイ属 ・イワフジツボ ・ムラサキインコ ・マツバガイ ・カメノテ ・ヒザラガイ ・ヤッコカンザシ ・ヨメガカサ ・アラレタマキビ ・イボニシ ・クロフジツボ

注)全出現種については、参考資料に示した。

#### 5 経年変化

## (1) 水温水平分布(海面下1m層) a 春 季

8	ì 着	萨习	ŝ									
	the set of				平成							
i	満潮時				26年度 (5/29)					1 1		温排水拡散域は1℃昇温範囲を示す。
		開始	09:45	08:45					08:30			
調査	時間	終了	10:37	09:45	10:23	10:06	09:58	09:58	09:35	10:29		
天	5	হ	曇	曇	晴		快晴	啃	曇	逾		
発電所	1号		0	0	0	_	_	-				
運転状況	2号		0	0	0	0	0	0	0	0		
(MW)	3 号 4 号		0	0	0	0	0	0	1200	0 1197		
取放水口	1, 2	取水口	18.3	19.2	19.5	18.0	19.0	18.9	20.0	18.8		-0
水温	1、2 号機	放水口	18.0	19. 2	19.5	18.0	19.0	18.9	19.7	18.8		$\sum$
(°C)	3号機	取水口	18.0	18.5	19.0	17.6	18.2	18.3	19.5	18.7	$\frown$	值賀崎
	こち惋	放水口	18.7	19.2	19.0	18.4	19.2	19.1	26.3	20.0	池崎	
	4 号機	取水口	17.7	18.3	19.0	17.7	17.9	17.7	19.5	18.7		
75.46.1	1.05	放水口	18.5	19.2	19.6	18.5	19.2	19.4	19.8	25.7		
取放水 温度差	1,2年 3月		-0.3 0.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	-0.3	0.0		
·Ⅲ及足 (℃)			0.1	0. 1	0.6	0.8	1. 0	1.7	0. 3	7.0		× × × ×
I	水拡散場		*	*	*	*	*	*	+	+		放水口 📎
*: 温持	非水の排	出はなが	いった。									玄海原子力発電所 了
	非水拡散					916-4		1 ED 140 YEE	1- 44 7		0	1000m
(王) 半日	成27年 4	月27日	1 亏機道	4転終了	。平成	o1#+4.	нуН2 	5 亏惯連	11111111111111111111111111111111111111	D		
		10 000 1 1 100			平成							
Ť	「げ潮時				26年度 (5/29)	1						温排水拡散域は1℃昇温範囲を示す。
		開始	13:30	12:15		12:00						
調査	時間	終了	14:24	13:15		13:03	13:28	12:55	12:37			
天	\$	। रो	晴	晴	晴	曇	快晴	睛	曇	雨		
発電所	1号	愦機	0	0	0	_	-	-				
運転状況	2号		0	0	0	0	0	0	0	0		
(MW)	3号		0	0	0	0	0	0	1201	0		
110 dde ale 1-1	4号	1	0	0	0 20.0	0	0	0	20.7	1197 18.9		
取放水口 水 温	1.2 号機	取水口 放水口	18. 2	20. 5	20.0	18.2	19.8	19. 2	20. 7	18.9		$\int$
(°C)		取水口	18.1	18.6	19.4	17.6	18. 2	18.2	19.7	19.0	$\frown$	
	3号機	放水口	18.7	19.3	19.4	18.6	19.3	19.4	26.5	20.1	池崎	
	4号機	取水口	17.7	18.3	19.2	17.6	18.0	16.9	19.7	18.7		
		放水口	18.8	19.3	19.8	18.6	19.3	20.2	19.9	25.7		
取放水	1, 25	~	-0.2	-0.3	0.4	0.0	0.0	-0.2	-0.7	0.0		
温度差 (℃)	3号 4号		0.6	0.7	0.0	1.0	1.1	1.2 3.3	6.8 0.2	1.1		
	*水拡散		*	*	*	*	*	*	+	+		放水口
	非水の排		いった。			I						玄海原子力発電所 「
+: 温打	非水拡散	域は認め	もられた								0	1000m
(注)半月	戎27年4	月27日	1 号機通	〖転終了	。半成	31年4.	月9日2	;号룮連	転終了	o		
					平 成							
	干潮時				26年度 (5/29)							温排水拡散域は1℃昇温範囲を示す。
		開始			15:15			15:15	14:45			
調査	時 問	終了		16:00				16:09	15:49			
天	\$	হাঁ	曇	晴	晴	曇	晴	睛	曇	曇		
発電所	1号		0	0	0	-			_			
運転状況	2 년		0	0	0	0	0	0	0	0		
(MW)	3 년		0	0	0	0	0	0	1201	0		
取放水口	4号	一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一	0 18.6	0 20.7	0 20.5	0	0 20.1	0	0 21.1	1198 18.9		<u>^</u>
水 温	1.2 号機	放水口		20. 7	20.5	18.2	19.7	19. 4	20.1	18.9		$\sum$
(°C)	ე ⊡ Idu	取水口		19.1	19.7	17.6	18.2	18.2	19.9	18.9	$\sim$	
	3号機	放水口	18.7	19.6	19.7	18.7	19.6	19.5	26.7	20.1	池崎	( 值賀崎 )
	4号機	取水口	17.7	18.3	19.5	17.6	18.0	16.7	19.8	18.7		
The diff. (c)		放水口	19.0	19.6	20.0	18.7	19.6	19.8	20.0	25.7		
取放水 温度差	1、2月 3月		-0.2 0.7	0.0	0.0	0.0	-0.4	-0.5 1.3	-1.0	0.0		
価度左 (℃)	3 년 4 년		1.3	1.3	0.0	1.1	1.4	3.1	0. 0	7.0		
	*水拡散		*	*	*	*	*	*	+	+		放水口
	井水の排		かった。		<u>l</u>						1	玄海原子力発電所 ∫
+: 温持	排水拡散	域は認2	められた			01 /~ 4	<b>H O D</b> ·	5 EI 146 V7	1 - 64 -		0	1000m
注) 半;	或27年4	лин	1 亏機進	<b>E</b> 鸭石松 了	。平成	31年4	нан;	5 亏懱連	虹於「	o	F	

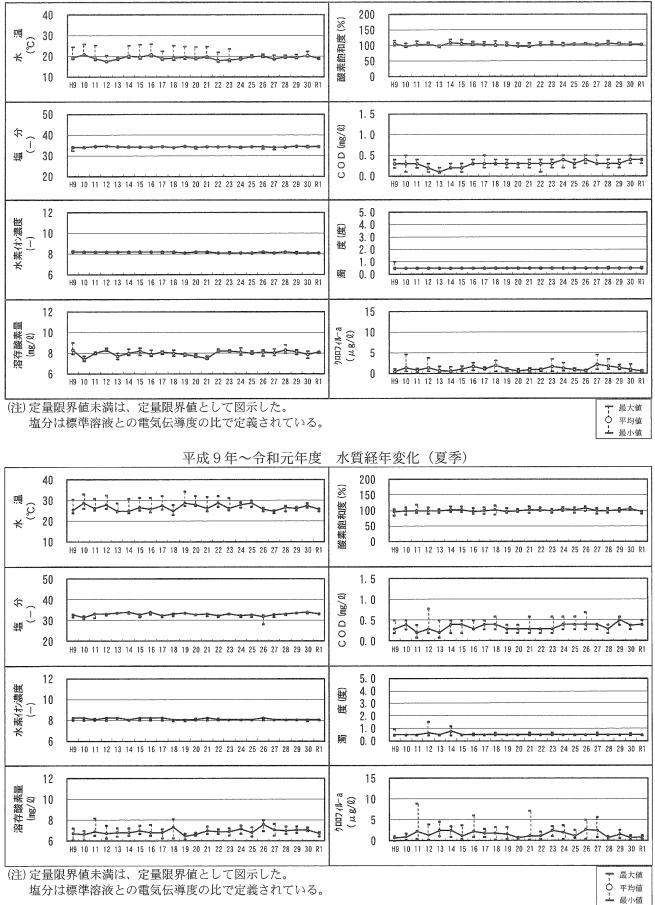
k	)夏	ĮĘ	Í.										
	$\begin{array}{c c c c c c c c c c c c c c c c c c c $												
	PHM												
調 査	PHM												
	PHM         PL												
発電所	NUME         F all P a												
運転状況	2号	号機	0	0	0	0	0	0	0	0			
(MW)													
The data is and		1											
												$\int$	
(°C)										-			
	る写懐	放水口	27.8	28.2	25.4	25.4	26.2	25.2	33.7	32.5	池崎		
	4号機												
顶散水	RAD     Field P. at P. dt P.												
	RH0     Field P and P A P A P A P A P A P A P A P A P A P												
(°C)	4 号	号機	0.9	1. 3	2.5	0.7	0.6	1.2	6.6	2.0		the second se	
温月	非水拡散	或	*	*	*	*	*	*	+	+			
				a de la casa da								4	
						31年4.	月9日2	2 号機運	【転終了	•	0 	1000m (	2
Ť	Alt     Note of a first of the first of the first prove pr												
	No.												
調	PHM     PH												
	PHM     PH												
発電所							-						
(MW)	No.												
(111)													
取放水口		取水口	28.0	28.4	25.1	24.9	30.7	26.3	27.5	26.1	1		
	号機									1			
(°C)	3号機										/ 油崎	1 值賀崎	
		1									10260		
	4 号機	放水口	27.8	28.1	25.3	25.1	26.5	26.2	33.5	27.5			
取放水	<u> </u>												
温度差 (℃)										1			
										1		放水口	
					I	L		L			1	玄海原子力発電所 5	
						31年4.	月9日2	2 号機運	【転終了	•	0	1000m ——————————————————————————————————	$\sum$
			平 成	平成	亚 咸	亚成	平成	अट हरे	파 다	合 和			>
	干潮時		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度		温排水拡散域は1℃昇温範囲を示す。	<b>)</b> /~ N
		111 - 5.4									{	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	
調査	時 間									ł	1		
天	\$										1		
発電所					0	-	ļ						
運転状況						<u> </u>					-		
(MW)						<u> </u>					{		
取放水口		1					<u> </u>				1	$\sim$	
				30.1	26.0	25.1	27.1	26.4	27.9	26.2		$\langle \rangle$	
(°C)	3号機						<u> </u>				NIL 14	值賀崎	
											池崎		
	4号機					<u> </u>	ł				1		
取放水	1.24										1		
温度差	3月	<b>寻機</b>	1.0	0.7	1.6	-0.1	1.8	1.0	6.8	6.8	]		
(°C)	L										-	放水口	
			1	*	*	*	*	*	+	+	]		
+: 温	排水拡散	域は認る	められた			31年4	月9日:	2 号機调	尾転終了		0	1000m	$\supset$
													$\leq$

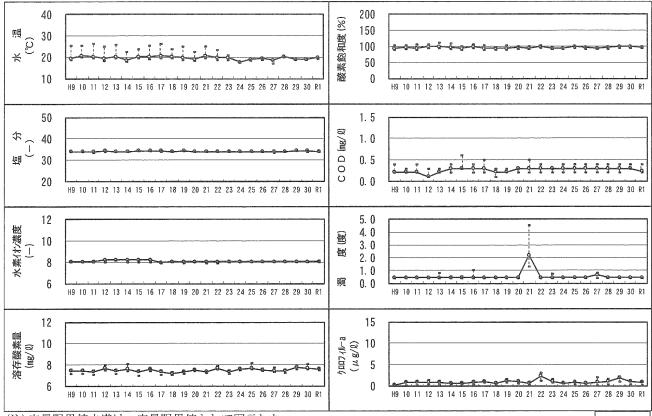
	: 利	( 3	ž –								
3	満潮時					平 成 27年度				令 和 元年度	温排水拡散域は1℃昇温範囲を示す。
1	and that net					(12/10)					
調査	時間	開始	09:15	09:30	09:30	08:30	10:00	10:30	09:45	09:30	
1941 I.L.	teri teri	終了	10:11			09:46	11:01	11:32	10:42	10:42	
天		đ.	晴	晴	晴	雨	快晴	晴	快晴	<b>曇</b>	
発電所	1号		0	0	0		- 0		- 0	- 0	
重転状況 (MW)	2 号 3 号		0		0	0	0	0	1202	1205	
(11117)	4月		0	0	0	0	0	0	1198	1194	
取放水口		取水口	18.1	17.8	19.5	17.2	20.3	20.3	16.7	20.1	$\sim$
水 温	and 1.004	放水口	17.6	17.5	19.5	17.1	20.2	19.1	19.0	20.1	
(°C)	3号機	取水口	17.8	17.9	19.3	17.9	20.4	19. 1	18.9	20.0	值賀崎
		放水口	18.5	18.1	19.9	18.5	21.0	19.1	25.8	26.9	
	4 号機	取水口	19.0	17.7	20.1	18.3	20.7	19.1	18.9	20.0	
The data rule	1.05	放水口	18.8	18.3	20.1	18.2	21.0	19.9	25.8	26.9	
取放水 温度差	<u>1、2</u> 考 3 号		-0.5	-0.3	0.0	-0.1 0.6	-0.1	-1.2	2.3	0.0 6.9	トリカ崎 🎧 🧹 🧹
(℃)	4号		-0.2	0. 2	0.0	-0.1	0.0	0.0	6.9	6.9	XQ
	水拡散		*	*	*	*	*	*	+	+	放水口
	非水の排		いった.			L					」
+: 温挂	非水拡散	域は認る	ちられな								0 1000m
注)平用	戎27年4	月27日	1 号機運	『転終了	。平成	31年4,	月9日2	2 号機運	転終了	٠	
						平 成					, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,
ኾ	「げ潮時					27年度					温排水拡散域は1℃昇温範囲を示す。
		日日十二	(11/28)			(12/10)	(11/16)	(11/21) 13:30	(11/24)	(11/27)	
調 査	時 間	開始 終了	12:30	12:30			13:50	14:33	13:26	13:34	
天	4	<u></u>	晴	晴	晴	雨	快晴	晴	快晴		
発電所	1号		0	0	0		-		-	-	
運転状況	2号	機	0	0	0	0	0	0	0	0	
(MW)	3号	機	0	0	0	0	0	0	1202	1205	
	4号	機	0	0	0	0	0	0	1199	1194	
取放水口	1, 2	取水口		17.7	19.7	17.2	20.4	20.3	16.7	20.0	$\sim$
水温	号機	放水口		17.5	19.7	17.1	20.3	19.4	19.2	20.0	
(°C)	3 号機	取水口 放水口		17.8 18.1	19.2 19.9	18.3 18.5	20.4 21.0	19.3 19.3	18.9 25.8	20.0	池崎
		取水口	19.0	17.7	20.0	18. 2	20.6	19. 2	18.9	20.0	1 Canel
	4号機	放水口		18.3	20.0	18.0	21.0	19.9	25.8	26.9	
取放水	1, 2#	- 号機	-0.4	-0.2	0.0	-0.1	-0.1	-0.9	2.5	0.0	
温度差	3 号	<b>计</b> 機	0.8	0.3	0.7	0.2	0.6	0.0	6.9	6.9	トリカ崎 (
(°C)	4 号	}機	-0.3	0.6	0.0	-0.2	0.4	0.7	6.9	6.9	放水口 人名
温胡	非水拡散均	或	*	*	*	*	*	*	+	ł	
	俳水の排 腓水拡散			っかった							玄海原子力発電所
	師 小 孤 敢 成 27 年 4					31年4	月9日2	2 号機運	転終了		0 1000m (
			4 17	317 e4	<b>W</b> (*	4- 77		VI ett	w ct	<b>人</b> 和	
:	干潮時					平 成 27年度					温排水拡散域は1℃昇温範囲を示す。
			(11/28)	(12/3)	(11/23)	(12/10)	(11/16)	(11/21)	(11/24)	(11/27)	Ť.
調査	時間	開始		15:00		14:00	15:30	15:45	15:15		
		終了	15:27	16:05		+	16:28	16:48	16:12	16:06	
天		<u>.</u>	晴	晴	晴	雨	快晴	晴	晴	雨	
発電所	1 2 号		0	0	0	- 0	0		0	- 0	
運転状況 (MW)	<u> 2</u> 7 3 月		0	0	0	0	0	0	1202	1204	
( 11 I I I I	4 년		0	0	0	0	0	0	1199	1193	
取放水口	1, 2	取水口		17.7	19.8	17.2	20.3	20.2	16.6	20.0	
水 温	号機	放水口		17.2	19.8	17.1	20.3	19.2	19.2	20.0	] / \
(°C)	3号機	取水口	17.7	18.0	19.3	18.3	20.4	19.2	18.9	20.0	值賀崎
	0 15 17%	放水口	18.6	18.1	20.0	18.6	21.0	19.2	25.8	26.9	池崎
	4号機	取水口		17.7	20.0	18.2	20.6	19.2	18.9	20.0	
		放水口		18.3	20.0	18.0	21.0	19.9	25.8	26.9	
取放水 泪 底 羔	1.25		-0.4	-0.5	0.0	-0.1	0.0	-1.0	2.6	0.0 6.9	
温度差 (℃)	3 년 4 년		0.9	0.1	0.7	0.3	0.6	0.0	6.9 6.9	6.9	
	4 m 非水拡散		*	*	*	*	*	*	0.9	+	放水口
温お		•	J	L	J	L	L	J	l	1	ـــــــــــــــــــــــــــــــــــــ
	排水の排	出けた・	かった								玄海原子力発電所 〇〇
*: 温 +: 温	排水の排 排水拡散 成27年4	域は認る	められな								玄海原子力発電所 5 0 1000m 7 0 1000m

		3		平 成	平 成	平 成	平 成	平 成	平 成	令 和		
	満潮時				26年度				30年度		温排水拡散域は1℃昇温範囲を示す。	) N
		88 44			(2/20)		(2/27)		(2/21)			
調 査	時 間	開始 終了	09:30	10:30 11:28		09:15 10:13	10:48	10:45 11:40	10:30 11:26	10:00 11:11		
 天	4	 	晴	显	晴	型	晴	快晴		快晴		
発電所	1号		0	0	0			-		-		
運転状況	2号	機	0	0	0	0	0	0	0	0		
(MW)	3号	·機	0	0	0	0	0	0	1206	1211		
	4号	機	0	0	0	0	0	0	1199	1197		
取放水口	1.2	取水口		11.2	12.3	12.8	13.2	11.9	14.2	14.7	$ \begin{tabular}{c} & \\ & \\ & \\ & \\ & \\ & \\ & \\ & \\ & \\ & $	
水温	号機	放水口		12.2	12.2	12.6	13.2	12.2	14.5	14.4		
(℃)	3号機	取水口 放水口		12.8 12.5	12.9 12.9	13.2 13.2	13.4 13.7	11.9 11.9	14.2	14.6 21.6	池崎	
		取水口		11.8	12. 3	12.7	13.1	11. 9	14. 2	14.6		
	4号機	放水口		12.6	13.4	13.4	13.8	12.6	21.1	21.4		
取放水	1, 27		-0.1	1.0	-0.1	-0.2	0.0	0.3	0.3	-0.3		
温度差	3 号	·機	0.6	-0.3	0.0	0.0	0.3	0.0	6.9	7.0	トリカ崎(~~~~~~~~~~	
(°C)	4号	機	0.8	0.8	1.1	0.7	0.7	0.7	6.9	6.8	放水口 🔍	
温技	非水拡散均	或	*	*	*	*	*	*	+	+		
	排水の排										玄海原子力発電所	
	排水拡散 成27年4					31年4.	月9日2	2号機運	【転終了	0	0 1000m ( 串崎	$\sum$
			W. cft	MZ cth	平成	平 成	平 成	平 成	平 成	令 和		5
7	下げ潮時				平 成 26年度						温排水拡散域は1℃昇温範囲を示す。	) N
			(2/26)	(2/17)	(2/20)	(2/22)	(2/27)	(2/18)	(2/21)	(2/24)	Ť	
調査	時 間	開始	12:30	14:00	13:00		12:30	14:00	13:20	13:00		
		終了	13:26	15:04	14:26		13:28	14:58	14:20	14:06		
天	· · · · · ·	रों, 	雨	曇	晴		晴	晴	晴	晴		
発電所 運転状況	1 日 2 号		0	0	0	0	0	0	0	0		
(MW)	3月		0	0	0	0	0	0	1206	1212		
	4 न		0	0	0	0	0	0	1198	1198		
取放水口	1, 2	取水口	12.0	11.1	12.4	12.9	13.2	12.2	14.5	14.9	$\sim$	
水 温	号機	放水口	11.8	12.2	12.4	12.6	13.2	12.3	14.5	14.9		
(°C)	3号機	取水口	12.4	12.8	12.8	13.5	13.4	12.0	14.1	14.6	值賀崎	
		放水口		12.6	12.8	13.4	13.7	12.1	21.0	21.6		
	4号機	取水口		12.0	12.3	12.7	13.1	11.9	14.2	14.6		
取放水	1, 2#	放水口	13.2	12.6	13.4	13.4 -0.3	13.8 0.0	12.6	21.1 0.0	21.3 0.0		
温度差	3月		0.2	-0.2	0.0	-0.1	0.3	0.1	6.9	7.0	トリカ崎 ( ( (	
(°C)			0.8		1.1	0.7	0.7	0.7	6.9	6.7		
	   水拡散		*	*	*	*	*	*	+	+	放水口	
*: 温	排水の排	出はなフ	かった。								玄海原子力発電所 了	
	排水拡散 成27年4					91年 4	ноц	)	に放了		0 1000m	7
任)平	成(11-4-4	<i>ни</i> ц	1 1710% /3	2 #24 #V\$ 1	。十成		n ə ii 2	5 勺 1灰座	5 444 W.C. J	•		$\leq$
					平 成 26年度						旧世を性野な)(11)の自治統国を二々	
	干潮時				20年度 (2/20)						温排水拡散域は1℃昇温範囲を示す。	, - 1
	nda	開始			15:45				16:00	15:30		
調 査	時間	終了	16:14				16:29		16:54	16:38		
天	\$	, रॉ,	曇	雨	晴	曇	晴	晴	晴	晴		
発電所	1 년	~~~~	0	0	0	-		-				
運転状況	2 =		0	0	0	0	0	0	0	0		
(MW)	3 년		0	0	0	0	0	0	1204	1211		
雨おすい	4号	1	0	0	0	19 0	0	0	1197 14.3	1197 14.9	$\bigcirc$	
取放水口 水 温	1、2 号機	取水口 放水口		12.1	12.2 12.2	12.9 12.7	13.2	12.1 12.3	14. 5	14. 9		
/∿ uni (℃)		取水口		12.1	13. 2	13.5	13.4	12.0	14. 4	14.6	$\sim$	
. ~/	3号機	放水口		12.6	13.1	13.5	13. 7	12. 0	21.1	21.6	池崎	
	A 13 444	取水口		12.0	12.4	12.8	13.2	12.0	14. 1	14.6		
	4号機	放水口		12.6	13.5	13.5	13.8	12.6	21.0	21.4		
取放水	1, 25	寻機	-0.2	1.1	0.0	-0.2	0.0	0.2	0.1	-0.1		
	3 長	機	0.8	-0.2	-0.1	0.0	0.3	0.1	6.9	7.0		
温度差	4 /=	機	0.9	0.6	1.1	0.7	0.6	0.6	6.9	6.8	放水口	
(°C)												
(℃) 温县	非水拡散。		*	*	*	*	*	*		SECUCIÓN		
(℃) 温捷 *:温		出はな;				1	I		[		玄海原子力発電所 ∫ 0 1000m ∕	

(2)水 質

#### 平成9年~令和元年度 水質経年変化(春季)

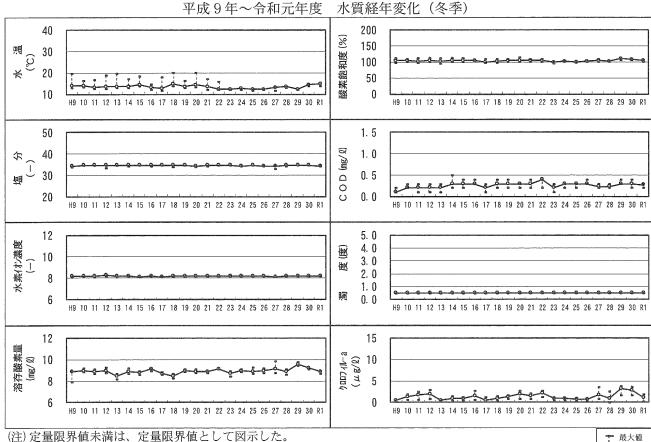




#### 平成9年~令和元年度 水質経年変化(秋季)

(注)定量限界値未満は、定量限界値として図示した。 塩分は標準溶液との電気伝導度の比で定義されている。 ★ 最大値
○ 平均値
最小値

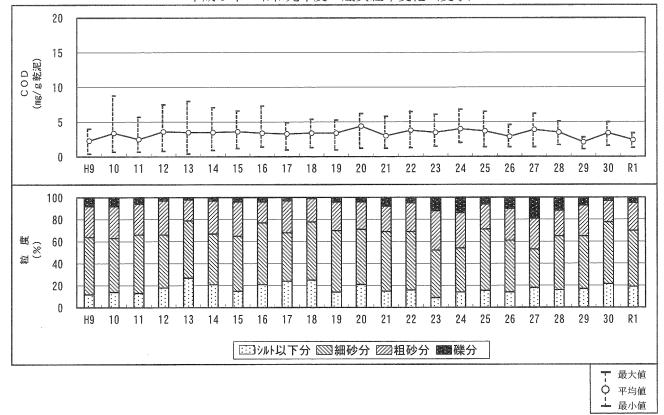
※ H21年度濁度について過去の調査結果より高かったが、その要因は、調査日前の降雨により河川から 流出した土砂が、時化により沈降できなかったためと考えられる。



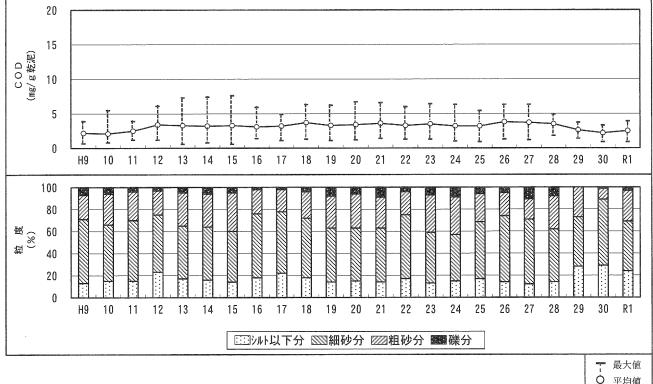
定量限界個木満は、定量限界個として図示した。 塩分は標準溶液との電気伝導度の比で定義されている。 **干**最大値
 ○ 平均値
 → 最小値

(3)底 質

平成9年~令和元年度 底質経年変化 (夏季)



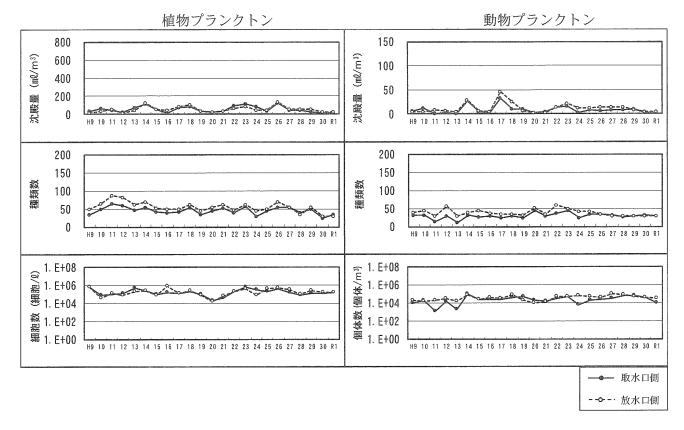




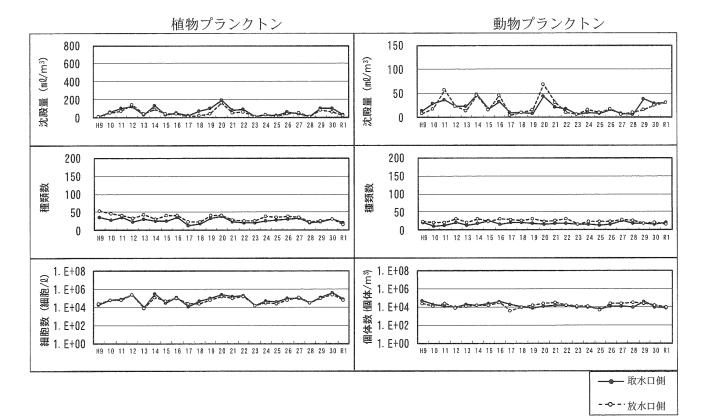
**○** 平均値
 ▲ 最小値

#### (4) プランクトン

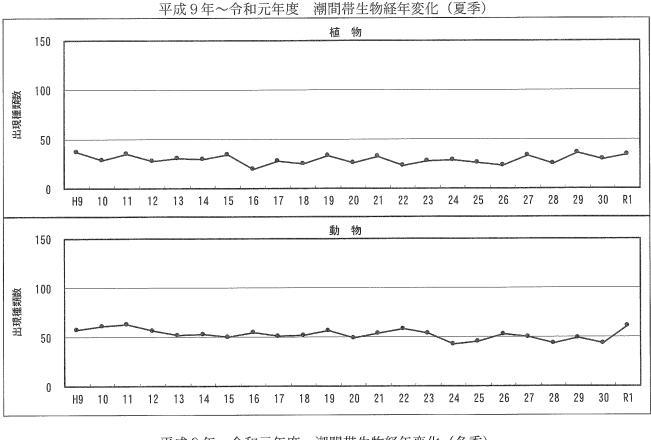
平成9年~令和元年度 プランクトン経年変化(夏季)

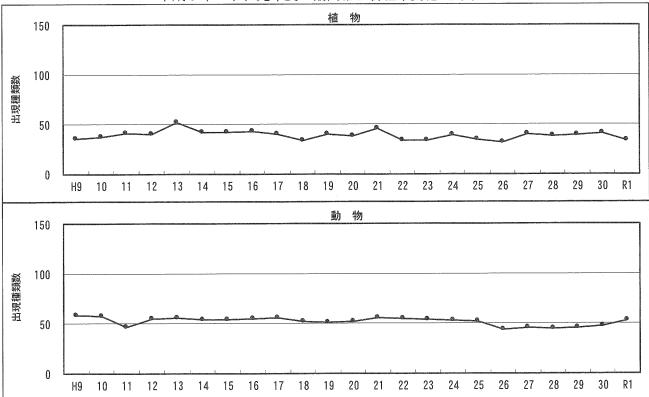


平成9年~令和元年度 プランクトン経年変化(冬季)



#### (5) 潮間帯生物





平成9年~令和元年度 潮間帯生物経年変化(冬季)

## 潮間帯生物出現一覧表(夏季)

				植	物								5 <b>5000</b> 510000 1000 1000 1000			動	物						
No.	測点 種名	A-1	A-4	A-7	A-12	A-13	B-6	B-7	B9	B-16	出現 測点数	No.	測点 種名	A-1	A-4	A-7	A-12	A-13	B6	B-7	B-9	B-16	出現 測点数
1	<u>走日</u> サビ亜科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	9	1	ヒザ ラカ イ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	9
2	サンコ゚モ亜科			0	0	0	0			0	7	2	シロカ・イ属	0	0	0	0	0		0	0		9 8
3 4	イワノカワ科 イソカ <sup>®</sup> ワラ科		0	0		$ \circ $					7	3	イワフシ゜ツホ゛ カメノテ								0		8
5	ヒメテンク゛サ			Õ	0	0	Õ	Õ	0	Ō	7	5	ヤッコカンサ゛シ		0	Õ	Õ	Ō	Ō	Ō	Ō	Ō	8
6	藍藻綱		0	0	0		0	0	0	0	7		クロフシ゛ツホ゛	0	0	0	0	0		0	0	0	8
	ウミトラノオ		0		0						6	8	アラレタマキヒ イホ゛ニシ										8 8
8 9	ミル ヒジ キ		0	0	0	$ \circ $	$ \circ $				6 5	8 9	1小 ーン ムラサキインコ	0						0			0 7
	モサス。キ属			0	Õ	0		Õ		0	5		海綿動物門			Õ	Õ	Õ	O.	Õ	0	Õ	7
11	テンク。サ科			0	0	0	0			0	5		カンザシゴカイ科	_	0	0	0	0	0	0		0	7
	アオサ属 コンン <sup>の</sup> ト <sup>3</sup> リエリ			0		0	0	0		0	5		タマキヒ。ガイ科			0	$\circ$			0			7
	アミシ゚グサ科 アラメ			0		$ \circ $	0		0		5 5		イソギ ンチャク目 キクノハナカ イ	$ \circ $	0	0		0					7 6
15	/ )/, / シケ°			0	0		0	0			4	-	ヨメカ <sup>*</sup> カサ			Õ	0		Ŏ	0	Õ	Õ	6
16	イソタ゛ンツウ			0	0			0		0	4	16	ケハダ ヒザ ラガ イ科			0	0	0	0	0		0	6
	イギス科			0			0	0		0	4		ケカ <sup>*</sup> キ			0	0	0			0	0	5
18 19	ユナ ソゾ 属			0				0			3 3		タマキヒ゛ ウノアシ			0	0	0		$ \circ $			5 5
	フラー)禹 イワヒケ <sup>*</sup>			0	0					0	3		マツハ゛カ゛イ	0	0		0		0		0		5
21	クロメ			0		0				0	3	21	ニシキヒサ゛ラカ゛イ			0			0	0	0	0	5
22	シワノカワ						0			$ \circ $	2		们们科			0	0	0				0	4
	カイノリ マクサ			0	$ \circ $						2		イタボ カ キ科 ムラサキウニ				0	0	0				4
1	vyy シオク <sup>°</sup> サ属										1		アオガ イ属		0			0	0		0		4
	ミル属				0						1	26	へ゛ッコウサ゛ラ				0.		0	0	0		4
	クロカ・シラ科							0			1		スソカケカ゛イ			0		0	0		0		4
	シワヤハス゛			$ \circ $							1		カラマツカ゜イ科 カモカ゛イ			$ \circ $		0	$ \circ $				4
	フクロノリ コンブ科				0	0					$\begin{vmatrix} 1 \\ 1 \end{vmatrix}$		ウラウス゛カ゛イ			0	0		0	0			4
	19E2			0							1		サンカクフシ゛ツホ゛					0	Ō	Ō			3
1	ホンダ ワラ属							0			1	1	キクザル科			0	0	0					3
	イバラノリ属			0							1		7ネガイ科							$ \circ $			3
34	ワッナギソウ 出現種類数	1	5	$\frac{\bigcirc}{27}$	20	11	14	20	8	19			イワホリカ イ科 カリハ カ サ科										3
		<u> </u>				L				1		}	シマレイシタ マシ			Ō			Õ	†	0		3
[#]	則点位置図]												コヒ゛トウラウス゛			0						0	2
													イシダータミ		0				0				22
		Г				-							タテジ マイリギ ンチャク コシタカカ゛ンカ゛ラ			0		0	0	$ \circ $			2
		L	調	<b></b>	海北	吙							トマヤガ 1科	İ		Õ				0			2
							1.10	442 -	A				オオヘヒ゛カ゛イ						0	0			2
	° ~				$ \cap $	∖ B <sub>a</sub>	。 波力 g B-7	AN June	ľ	9			レイシカ゛イ ハ゛フンウニ										22
	B-16		ſ	کرے		$\bigtriangledown$	A-1	s ja-4	-12	8.4号機 取水口			ハ ////- ミズ ヒキコ カイ科										1
	and the second s	مر					1.2号 放水		section of	取水口			コケムシ綱					<u> </u>	+	0			1
								1.2号機 取水11	A-13	5	S		アマカ゛イ									0	1
ر ار									5	5			オオコシタカカ゜ンカ゛ラ						0				1
							ſ	$\mathcal{I}_{\mathcal{I}}$	$\sim$		Essel		メクラカ゜イ スカ゛イ						0	$ \circ $			1
													ウニレイシ		<u> </u>			+	$\stackrel{\smile}{\vdash}$	+	0	+	1
												52	フトコロガイ科			0							1
													ババガセ			0							1
													クヒ゛レクロツ゛ケ クマノコカ゛イ										1
													レメクホ カ イ	<u> </u>		0		+		+			1
												57	チグサガイ属							0			1
													イソニナ		0								1
													アメフラシ科 コシダ カウニ										
													ታታ <sup>*</sup> ፲			0					1		1
												L	出現種類数	12	12	42	22	23	35	31	24	30	

注)表中の〇は、その測点で観察されたことを示す。

### 潮間帯生物出現一覧表(冬季)

				植	物							-					動	物						
No.	測点 種名	A-1	A-4	A-7	A-12	A-13	B-6	B-7	B-9	B-16	出現 測点数	N	Io.	測点種名	A-1	A-4	A-7	A-12	A-13	B-6	B-7	B-9	B-16	出現 測点数
1	サビ 亜科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	9		1	シロカ・イ属	0	0	0	0	0	0	0	0	0	9
2	藍藻綱	0	$\circ$	0	0		0	0	0	0	8			イワフシ゛ツホ゛	0		0	0	0	0	0	0	0	8
1.	サンゴモ亜科						0	0	0		7 7		I	ムラサキインコ		$ \circ $	0	0			0	0	0	8
4 5	イワノカワ科 ヒメテンク <sup>*</sup> サ	$ \circ $					0	0	0	0	7			カメノテ ヤッコカンサ <sup>*</sup> シ	0	0	0	0		0	0		0	8
	(ソカジワクク) イソガ ワラ科		+	$\overline{0}$	0		0	0	$\overline{0}$	0	6			P5V97+L*	0	<u> </u>	Õ	Õ	ŏ	0	0	Õ	Õ	8
	テング サ科	0		0	0	0	0			0	6		7	クロフシ゛ツホ゛	0		0	0	0	0	0	0	0	8
8	アオサ属	0			0	0	0		0	0	6		8	アオカ゜イ属	0	0	0	0	0	0	0	0		8
	ウミトラノオ	0		0			0	0		0	5			タマキヒ゛カ゛イ科	0		0	0	0	0	0	0	0	8
	シワノカワ 				$\left  \begin{array}{c} 0 \\ 0 \end{array} \right $	$\left  \begin{array}{c} 0 \\ 0 \end{array} \right $	0	0		0	5			<u>マツハ゛カ゛イ</u>  ヒサ゛ラカ゛イ		$ \circ $	$\frac{0}{0}$	0	0	0	0	0	0	8
	N.N゙ /リ属 ヒジ キ					$\circ$		0		0	4			Lリーフル 1 ヨメカ <sup>*</sup> カサ	0	0		0						8
	Lン + イシケ						0	0	0		4			イホ <sup>*</sup> ニシ	õ		0	0	0	0	0	Ō	Ō	8
	アマノリ属			0			0	0	0		4	1	4	カンザシゴカイ科			0	0	0	0	0	0	0	7
15	1キ゚ス科			0	0		0	0			4	1	5	ウノアシ	0	0	0	0		0		0	0	7
	ソゾ属	0			0		0			0	4			ベ ッコウザラ		0	$\left  \begin{array}{c} 0 \end{array} \right $	0		0	0	0	0	7
	1			$\left  \begin{array}{c} 0 \\ 0 \end{array} \right $	0			0			3			イソギ ンチャク目	0			0	0				0	7
	イワヒケ アミジ グ サ科				0			0			3			海綿動物門 ケガキ									0	66
	) = 2 · 9 · 9 · 14 三川科				0						2			97771 9772	0	0				0	0		0	6
	モサス゛キ属		1	0	$\overline{0}$						2	2	21	キクノハナカ゜イ	0		0			0	0	0	0	6
22	フクロフノリ			0	0						2	2	22	カラマツガ・イ科	0	0	0		0		0		0	6
	イソタ゜ンツウ			0				0			2		1	ケハダ ヒザ ラガ イ科			0	0	0		0	0	0	6
	ワカメ						$\left  \begin{array}{c} 0 \\ 0 \end{array} \right $			$ \circ $	2	1	- 1	カモカ <sup>*</sup> イ フリカケカ <sup>*</sup> イ							$ \circ $			6
	アラメ ミル				0		0				$\frac{2}{1}$	-		スソカケカ゜イ ムラサキウニ	0		$\overline{0}$	$\overline{0}$		0	0		$\overline{0}$	6 5
	7/0/0						0				1		I	イカ <sup>*</sup> イ科	0		0				Ŏ		Õ	4
	オハ゛クサ			0			_				1	2	28	イタホ カ キ科			0	0	0				0	4
29	ムカデ 川科			0							1	2	29	クマノコカ゛イ	0	0	0		0					4
	イバラノリ属			0							1			ニシキヒサ゛ラカ゛イ			0			ļ	0	0	0	4
1	オキツノリ										1	1		コケムシ網 レイシカ゜イ				$ \circ $	0		0	0		3
	カイノリ 珪藻綱										1			レインル イ フネガ イ科						0				3
	コンプ科								0		1	1	- 1	Pratí 1							0		0	2
	出現種類数	7	2	25	19	8	18	16	9	17		e e	35	チグサガイ属				0		0				2
<b></b>														クホ <sup>*</sup> カ <sup>*</sup> イ		0	0							2
[1	則点位置図]													ハ・フンウニ			$ \circ $			$ \circ $				2
														1ワホリガイ科 キクザル科									$ \circ $	$\begin{vmatrix} 2\\ 1 \end{vmatrix}$
		1	सत			4								ィンシ ルイギ アカフシ゛ツホ゛			$\left  \begin{array}{c} 0 \\ 0 \end{array} \right $							1
		l	調	<u> </u>	(田)	戝								サンカクフシ゛ツホ゛					0	1	1			1
									æ			4	12	ホヤ綱(群体)			0							1
					$\cap$	\ n	3.49 放水 9.B-7	11/1-7 11/1-7		)			- 1	イシタ゛タミ		0	-							1
	° 20 0 R <sup>B-16</sup>		1	كريه			B-C	A-4	12				- 1	クルスカ゛イ			$ \circ $							1
	~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~	e~5					1.2号組 数水1		进 资源所	3.4号機 取水日				メクラカ゛イ スカ゛イ						0	$ \circ $			$\frac{1}{1}$
		J						1.2号版 取水110	A-13	Ę				xx 1 2722129° 72								0		1
1	<u>ب</u>								2	Ć	P			タテシ マイソギ ンチャク		0								1
٢								5	/ ~	$\langle$		-		クヒ゛レクロツ゛ケ		0								1
									~~	$\sim$	EST	b		コシタカカ゛ンカ゛ラ		<b> </b>	0	<b> </b>		ļ				1
														ヒメクホ゜カ゜イ ・・・・・・・・			0							1
														オオヘビ゛カ゜イ イソニナ						$ \circ $				
												Ľ	13	17-7	ļ		<u> </u>	0.0		9.4				

注)表中の〇は、その測点で観察されたことを示す。

出現種類数 19 16 42 26 23 24 30 26 30

#### 潮間帯生物出現一覧表(夏季·分類群別)

No.	種名				測点	A-1	A-4	A-7	A-12	A-13	B-6	B-7	B-9	B-16	出功 測点1
1	緑藻植物門絲	多遊綱	アオサ目	7才サ科-	Pt时属			0		0	0			0	5
2	1048 DAK 105 D271 1 1	41 1/1 1/1 4	ミト"りケ"目	シオグ・サ科	シオク サ属			Õ							1
3			ミル目	ジル科	₹.N			Õ		0	0	0	0	$\Box O$	6
4					シル属				0						1
5	褐藻植物門	司形世代綱	シオミドロ目	イソカ ワラ科			0	$\overline{\mathbf{O}}$	0		0	0	Ô	$ $ $\circ$	7
			クロガシラ目	クロカ・シラ科								0			1
7			アミジグサ目	アミジケサ科				0	0	0		0		0	5
8					シワヤハス*			0							1
9		<b>毘形世代綱</b>	ナガマツモ目	ネバリモ科	<u>シワノカワ</u>						0			0	2
0	-			イシゲ科	195			0			0	0			4
			ハパモト゚キ目	コモンフ・クロ科	<u> </u>			0						0	3
2				カヤモノリ科	770/1				0						1
3			コンブ目	コンブ科											1
4					アラメ				0_		0	0	0	0	5
5					クロメ			0		0				0	3
6	F	円胞子綱	とバマタ目	ホンタ ワラ科	ヒジ キ		0	0	0					0	5
7					ウミトラノオ		0	0	0			0		0	6
8					イソモク			0							1
					ホンタ。ワラ属										
	紅藻植物門耳	真正紅藻綱	テングサ目	テングサ科				0	0		$\Box$			0	5
1					ヒメテンク サ			0	0		0	0	0	0	7
2					マクサ			0							1
3			カクレイト目	17/加科				0		0	0	10		0	7
4				サンゴ モ科	<u> </u>	0	0	Q	0	0	0	0	0	0	9
5					モサス。キ属	_		0	0	0		0		0	5
6					サンゴモ亜科			0	0.	0	0	0		0	7
7			スギノリ目	(バラ/川科	1バラノリ属		l	0							1
8				杉 /វ科	イソタ ンツウ			0	0			0	<b> </b>	$  \circ  $	4
29		1		スギノリ科	カイノリ			0	0						2
0			ダルス目	<u> ワツナギ リウ科</u>	ワッナキ リウ		· · · · · ·	0							
1 2 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 2 2			イギス目	1+' 2科				Q.			0			$\downarrow \bigcirc$	4
2				7ジマツモ科	17		ļ	<u> </u>	<u>  0</u>			0			3
3					ソゾ属			Q	0			Q			3
4	藍藻植物門園	監藻綱		te an white			<u> </u>	0	0		0	0	<u> </u>		+7
			出現種	類数			5	27	20	11	14	20	8	19	1

					動物										
\ <sup>1</sup> 0.	種名				測点	A-1	A-4	A-7	A-12	A-13	B-6	B-7	B-9	B-16	出現 測点
1	海綿動物門							0	0	<u></u>	<u> </u>	0_	<u>l</u> <u>o</u>	Q.	17
	刺胞動物門	花虫綱	イソギンチャク目			0		0		0	0	0	0	0	7
3					科 タテシ マイリギ ンチャク	_			ļ	0		0			2
	軟体動物門	ヒザ ラガ イ綱	ヒザラガイ目	<u>とゲとザラガイ科</u>	<u></u>			$ \circ $	L						
5				とサ゛ラカ゛イ科	ニシキヒサ・ラカ・イ			<u>Q</u>				L <u>Q</u>	<u> </u>	<u> </u>	5
6					ヒザ ラカ イ	0	0	0	0	0	Q	Q	0	<u>l</u> <u>o</u>	9
7				ケハタ ヒサ ラカ イ科				Q	0	0	0	0		0	6
8		マキカ・イ綱	オキナエヒ、ス目	スカシカ イ科	<u>スリカケカ*イ</u>			0			0		L <u>Q</u>		4
9				ツタノハ科	<u>ベ ッコウザラ</u>				$\frac{1}{2}$		<u> </u>				4
0					マツハ カ イ	0	0		0		Q		<u> </u>		5
1					ヨメカ゛カサ			Q	0		Q	0	0	L <u>Q</u>	6
12				ユキノカサ科	<u> ウノアシ</u>	0		0	0		0			L8-	
13					<u>hth° 1</u>			0	<u>l</u> <u>Q</u>	8			-8-		4
14					<u>シロカ・イ属</u>	+ -	8	10		$\left  \begin{array}{c} 0 \\ 0 \end{array} \right $	8-	0_	8	1 - 2	2
5					<u>アオカ 1属</u>					0	8		<u> </u>		
16				ニシキウス、科	<u>イシタ タミ</u>	-	<u> </u>				<u> </u>				2
. (					<u>クヒ*レクロツ*ケ</u>							0			
8					<u>メクラカ イ</u>		0					<u> </u>			
9					<u>クマノコカ イ</u>	1	$\vdash \bigcirc $								
$     \begin{array}{r}       0 \\       1 \\       2 \\       3 \\       4 \\       5 \\       6 \\       7 \\       8 \\       9 \\       0 \\       1 \\       2 \\       3 \\       4 \\       5 \\       6 \\       7 \\       8 \\       9 \\       0 \\       1 \\       2 \\       3 \\       4 \\       5 \\       6 \\       7 \\       7 \\       8 \\       9 \\       0 \\       1 \\       2 \\       3 \\       4 \\       5 \\       6 \\       7 \\       7 \\       7 \\       8 \\       9 \\       0 \\       1 \\       2 \\       3 \\       4 \\       5 \\       6 \\       7 \\       7 \\       7 \\       7 \\       7 \\       7 \\       7 \\       7 \\       7 \\       7 \\       7 \\       7 \\       7 \\       7 \\       7 \\       7 \\       7 \\       7 \\       7 \\       7 \\       7 \\       7 \\       7 \\       7 \\       7 \\       7 \\       7 \\       7 \\       7 \\       7 \\       7 \\       7 \\       7 \\       7 \\       7 \\       7 \\       7 \\       7 \\       7 \\       7 \\       7 \\       7 \\       7 \\       7 \\       7 \\       7 \\       7 \\       7 \\       7 \\       7 \\       7 \\       7 \\       7 \\       7 \\       7 \\       7 \\       7 \\       7 \\       7 \\       7 \\       7 \\       7 \\       7 \\       7 \\       7 \\       7 \\       7 \\       7 \\       7 \\       7 \\       7 \\       7 \\       7 \\       7 \\       7 \\       7 \\       7 \\       7 \\       7 \\       7 \\       7 \\       7 \\       7 \\       7 \\       7 \\       7 \\       7 \\       7 \\       7 \\       7 \\       7 \\       7 \\       7 \\       7 \\       7 \\       7 \\       7 \\       7 \\       7 \\       7 \\       7 \\       7 \\       7 \\       7 \\       7 \\       7 \\       7 \\       7 \\       7 \\       7 \\       7 \\       7 \\       7 \\       7 \\       7 \\       7 \\       7 \\       7 \\       7 \\       7 \\       7 \\       7 \\       7 \\       7 \\       7 \\       7 \\       7 \\       7 \\       7 \\       7 \\       7 \\       7 \\       7 \\       7 \\       7 \\       7 \\       7 \\       7 \\       7 \\       7 \\       7 \\       7 \\       7 \\       7 \\       7 \\       7 \\       7 \\       7 \\       7 \\       7 \\       7 \\       7 \\       7 \\     $					<u>オオコシタカカ゛ンカ゛ラ</u> コシタカカ゛ンカ゛ラ			0			8			<u> </u>	
1					127711 24 7 127711 24 7			K							+ ·
2					<u>に入りホール 1</u> チケ <sup>*</sup> サカ <sup>*</sup> イ属			1-9-							+
3				リュウテン科	<u>- 7ク リル 1/高</u> ササ <sup>*</sup> エ			$\left  \right\rangle$	-						+
4				9397774	<u> スカ イ</u>				-		$\mathbf{b}$				1
0					<u> </u>	-		0			$\frac{1}{8}$	$\overline{0}$		0	+
7				アマオフ ネ科	775 1 775 1	-		$\vdash$	· · ·					1X	1
( 0			ニナ目	タマキヒ。ガイ科	D 10 1	10		0	0			$\overline{0}$	$\overline{0}$	1ð	+
0			-/日	17 TL / 144	97#L"	1 X		$\vdash \lor$	<u> </u>	0	1 ŏ	1ŏ		۲ŏ	1
0					77697712	18		$\overline{0}$	$\left  \right\rangle$	H X	<del>ا</del> ک	1 X	0	18	
1					コヒットウラウス	$+ \checkmark$		1 X		<u> </u>					
2				ムカテ カ イ科					1			$\overline{0}$	-		1
3				加バガサ科	104.04.74.1	-		0			ŏ	<u> </u>		$\overline{\mathbf{O}}$	1
4			パイ目	アクキカ イ科	シマレイシタ マシ			1 O			ĬŎ		0		
5			/ · · · ·		ウニレイシ	1							Ŏ		1
6					V1>1 1	1		0				0			T
7					イホ ニシ	<b>10</b>		ĬŎ	0	0	0	Ō	0	$\overline{\mathbf{O}}$	1
8				713口加 /科		1		ĬŎ							1
8			1	エリ パ 1科	イソニナ		0								1
ŏ			アメフラシ目	アメフラシ科		1		0							
0	1			カラマツカ イ科		Т	1	ŏ			0		0	$\overline{0}$	1
$\frac{1}{2}$	1				キクノハナカ゛イ	1	0	ĬŎ		[	Õ.	0	Õ	Õ	1
$\frac{2}{3}$		ニマイガーイ綱	7ネガ1目	7ネガイ科				Ŏ			Ő	0			
4			イガイ目	们们				10	0	0				0	
4 5					ムラサキインコ			0	Ō	0	0	$\Box$	0	0	
6	1		ウク イスカ イ目	イタボ ガ キ科				Ō	Ō	Ô					T
7					ケガ キ			0	0.					0	
8			ハマグリ目	キクサ。ル科				0	0						
9				トマヤカ イ科				0				0			
Ő				イワホリカ イ科							0			$ $ $\circ$	
1	環形動物門	コ゚カイ綱	スピオ目	ミズ ヒキコ カイ科				$ $ $\circ$							
2			ケヤリ目	カンザシゴカイ科				0	0	0	0	$  \circ$		$\downarrow Q$	
3					ヤッコカンサ゛シ			0	0	Q					-
4	節足動物門	甲殻綱	フジ ツボ 目	ミョウカ ガイ科	カメノテ	0		0	0	0	0	0		0	
5				197ジツボ科	1775 "75"	0		$\downarrow \bigcirc$	0	Q		0	0	$  \circ  $	
6				フジ ツボ 科	サンカクフシ゛ツホ゛					0	$  \circ  $	0		-	1
7					<u>クロフシ゛ツホ゛</u>		0	0	0	$ $ $\circ$	Į	0	<u> </u>	0	_
8	触手動物門	コケムシ綱							ļ		l				-
9	棘皮動物門	ウニ綱	ホンウニ目	サンショウウニ科	コシタ゛カウニ	1		0							
0				オオバフンウニ科	パ フンウニ			10				0			
1			1	ナガウニ科	ムラサキウニ			$\Box$	1		10	0			
L.			出現種			12	12	42	22	23	35	31	24	30	

注)表中の〇は、その測点で観察されたことを示す。

注)表中の○は、その測点で観察されたことを示す。

33 藍藻植物	1 問 萨 薀 細			177 mg	Ŏ	0	0	ŏ		Õ	0	$\overline{\mathbf{O}}$	Õ	8
00 監保恒化	11 監保胴				1			<u> </u>			<u> </u>			1
34   珪藻植物門  珪藻綱 出現種類数						2	25	19	8	18	16	9	17	
L		田児悝	积极		7	4	40	1.1.7	0	10	<u> </u>	1 2	11	
				動 物										
			The second s	Contraction of the local division of the loc	1			1	Г	1	1	1	1	
N0. ## 4/					A-1	A-4	A-7	A-12	A-13	B-6	B-7	B-9	B-16	出現 測点数
裡 名														
1 海綿動物	A線動物門 海綿動物門							0	0		0	Q		6
2 刺胞動物	門 花虫綱	イソギ ンチャク目					0	$\bigcirc$	0		0	0	0	7
3			タテシ マイソキ ンチャクス	科 タテジ マイソキ ンチャク		0								1
4 軟体動物	り門 ヒザ ラガ イ綱	とザラガイ目	とサ うカ イ科	ニシキヒザ゛ラカ゛イ			0				10	$ $ $\circ$		4
5				ヒザ ラカ イ	$\Box$		$\Box$	0	0	0	ŏ	0	$  \circ$	8
6			ケハダ ヒザ ラガ イ科				$\Box$	$\Box$	0		$\Box$	$\Box$	0	6
7	マキカ <sup>*</sup> イ綱	オキナエヒ、ス目	スカシカ イ科	スリカケカ゛イ	$\overline{0}$		Ô	Ô	0			$\Box$		6
7 8 9 10	1 1 24 1 24 2	ATT AC ALL	ツタノハ科	ヘ ッコウサ ラ	<u> </u>	0	$\overline{0}$	Ŏ		0	$\overline{\mathbf{O}}$	Ô	Ó	7
0			1777911	マツハ* カ* イ	0	Õ	Ŏ			Õ	Ő	Õ	Õ	8
<del>5</del> 10				3×1, 1, 1, 1, 1, 1, 1, 1, 1, 1, 1, 1, 1, 1	1 ŏ	ŏ	ŏ	0		ŏ	ĬŎ	ŏ	Ŏ	8
11			ユキノカサ科		18	ŏ	1 X	1 ŏ		ŏ	<u> </u>	1 ŏ	ŏ	7
11			-1////11	<u>リアフラ</u> カモカ <sup>*</sup> イ	$\vdash$	$\vdash$	1 X	10	0	<u> </u>	$\overline{0}$	8	1 O	6
12				シロカ イ属	0	0	8	18	ŏ	$\overline{0}$	18-	<del>ا ک</del>	Гŏ	9
13					18-	$\overline{}$	1 X	K	0	$\left  \begin{array}{c} \\ \\ \\ \end{array} \right $	<del>ا ۲</del>	6	$+ \sim$	8
14		1		<u>アオカ イ属</u>	$+ \vee$		$\vdash \bigcirc$	$+ \bigcirc$		$\vdash \bigcirc $	$+ \vee$	$\vdash$		
15			ニシキウス 科	<u>イシタ<sup>*</sup> タミ</u>		8								<u>├</u>
16				<u>クヒ゛レクロツ゛ケ</u>		$\downarrow \cup$								1
117				メクラカ イ			$\vdash \frown$			<u> </u>	1-9-			2
18				<u> 2,5°, 1°, 1</u>	-		<u>  0</u> _	L					<b> </b>	
19				クマノコカ・イ	0	0	0	ļ	0					4
20				<u>コシタカカ゛ンカ゛ラ</u>			$\left  \right $							
21				ヒメクホ´ カ゚ イ			$ \circ $				ļ			1
22				チグサガイ属				0		0		ļ		2
23			リュウテン科	スカ゜イ										
24			アマオブネ科	アマカ゛イ							0_		0	2
25		こけ目	タマキビガイ科		0		0	0	0	0		0	0	8
26				タマキヒ	8	0	$  \circ  $			0	0		$  \circ$	6
27				アラレタマキヒ	0		0	0	0	$\Box O$	0	0	ΤO	8
28			ムカテ。カ、イ科	オオヘヒ゜カ゛イ	1					$\circ$		T		1
29			カリハ・カ・サ科	クルスカ゛イ			$\overline{0}$				1			1
30		パイ目	アクキカ イ科	27V128° 72	1						1	0		1
21			77174 1911	レイシカ イ	1		$\mathbf{b}$					ΤÕ		3
20				イボ ニシ	$\overline{10}$		1 ŏ	$\mathbf{b}$	$\overline{0}$	$\overline{0}$	ĬŎ	ĬŎ	0	8
20			エゾバイ科	1925		$\overline{\mathbf{O}}$	<u> </u>			<u> </u>		1	1	1
$\begin{array}{c} 11\\ 12\\ 13\\ 14\\ 15\\ 16\\ 17\\ 18\\ 19\\ 20\\ 20\\ 22\\ 23\\ 20\\ 22\\ 23\\ 20\\ 22\\ 23\\ 20\\ 22\\ 23\\ 24\\ 25\\ 26\\ 27\\ 28\\ 29\\ 30\\ 31\\ 32\\ 33\\ 34\\ 34\\ 35\\ 36\\ 37\\ 38\\ 39\\ \end{array}$		モノアラガ イ目	<u>カラマツカ イ科</u>	117-7	0	K	$\overline{0}$	1	0	1	0	1		6
34		[T/] // 1 E	A / Y / A 1 作作	キクノハナカ・イ	18	$\vdash \lor$	t X	+	+	$\overline{0}$	t ör			6
50	mm / h * / Gent	734 10	774 / 47	<u>177/11/4 1</u>	$+ \vee$		t X	+		HÖ	18	$+ \overline{}$	$+ \leq$	3
30	こマイカ <sup>*</sup> イ綱	7ネガイ目	<u>7ネカ<sup>*</sup> イ科</u>		$\uparrow$			+		$+ \checkmark$	18	1	$\overline{0}$	4
37		イガイ目	イガイ科	1-44/1-	$\downarrow \circ$		18	0		$\square$	$+ \frac{1}{2}$	0	18	
38	1	2.2.8.2	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	ムラサキインコ		$ \circ $	10	0	0	0	$+ \bigcirc$	+		8
39		<u></u> ウク゛イスカ゛イ 目	目 イタボ ガ キ科	<u></u>			Q.	Q			+	+	10	4
40				ケカ゛キ	<b> </b>		<u>  Q</u> _	$  \circ  $		Į	0	$\downarrow \circ$	10	6
41		ハマグリ目	キクサ・ル科				0						1	
42			19ポリカ イ科				$\left  \begin{array}{c} 0 \end{array} \right $	-	1	- <u>_</u>			$\left  \circ \right $	2
43 環形動物	か門 コ゚カイ綱	ケヤリ目	カンザ シコ カイ科					0		0	0	$\downarrow \circ$	0	7
44				ヤッコカンサ゜シ		$  \circ  $	$ $ $\circ$	0	0	0	0	0	0	8
45 節足動物	か門 甲殻綱	フジ ツボ 目	ミョウガガイ科	カメノテ	8		0		0		$  \circ  $	$  \circ$		8
46			イワフジ ツボ 科	イワフシ゛ツホ゛				0	0	0	0	0	0	8
47			フジ ツボ 科	アカフシ゛ツホ゛			$\Box$							1
48				サンカクフシ゜ツホ゛					0					1
49				クロフシ゛ツホ゛	0		0	0	Õ	0	0	0	$\overline{0}$	8
50 触手動物	毎月月 コケムシ編			12.12.4. 2.4.	1	1	ĬŎ	Ŏ	Ŏ	1	1			3
<u>50 融子勤</u> 51 棘皮動		ホンウニ目	オオハ フンウニ科	ハ ブンウニ	1		10	1	<u>+</u>	$\overline{0}$	1	1	1	2
<u>31</u> 熙反 <u></u> 第1 52	クロコリンーが門	1027-D	<u> 44/  /2//</u>  ナガ ウニ科	ムラサキウニ	+		18	0	1	tŏ	0	1		5
	毎日日 ナカシの		111 7-17		+		18	+ <u> </u>	+	$+ \sim$	1	1	$+ \checkmark$	$\frac{1}{1}$
					19	16	42	26	23	24	30	2.6	30	+
出現種類数						10	1 46	1 40	1 40	1 44	1 90	1 40	1 00	1

					植物										
No.	種名				測点	A-1	A-4	A-7	A-12	A-13	B-6	B-7	B-9	B-16	出現 測点数
	緑藻植物門	緑藻綱	アオサ目	7才サ科	7才サ属	<b>0</b>			0	0	0		0	$\Box$	6
2	1014 1/4 1/2 1/21 1	144 124 117 1	い日	3ル科			1		Ō					0	2
3			4.0 F4		3.W						0			[	1
	褐藻植物門	同形世代綱	シオミト・ロ目	イソカ ワラ科				0	0		0		0	0	6
5	IN THE INT I		アミシ ケ サ目	アミジ グ サ科				Ô				0		0	3
6		異形世代綱		ネハ・リモ科	シワノカワ				0	0	Ó	0		0	5
7				イシケ 科	125°			0			0	0	0		4
8			ハパモドキ目	コモンフ クロ科	1755			Ô	0					$\left[ \begin{array}{c} 0 \end{array} \right]$	3
9				カヤモノリ科	77079						0				1
10					AN 川属			0	0	0		0			5
11			コンプ 目	コンプ科											1
$\frac{11}{12}$					アラメ				$ $ $\circ$		0				2
13					ワカメ						0				2
14		円胞子綱	とパマタ目	ホンダ ワラ科	ヒジキ			0	$\circ$			$\circ$			4
15					ウミトラノオ	0		0			0	0			5
16	紅藻植物門	原始紅藻綱	ウシケノリ目	ウシケノリ科	アマノリ属			0			0	0	0		4
17		真正紅藻綱	テングサ目	テング サ科		<b>10</b>		0	0	0	0			10	6
18					ヒメテンク゛サ			0	$\left[ \right]$	0	0		0	0	7
19					オハ゜クサ			0							1
$     \begin{array}{r}       18 \\       19 \\       20 \\       21 \\       22 \\       23 \\       24 \\       25 \\       26 \\       27 \\       28 \\       29 \\       30 \\       \end{array} $			カクレイト目	17月加科		0		0	0	$\circ$	0	0		0	7
21				サンゴ モ科	サピ亜科	0		0	$  \circ  $	0	0	0		0	9
22					モサズキ属	_		0	0						2
23					サンゴモ亜科			0		$ \circ $	0	$  \circ  $	$  \circ  $	$ \circ $	7
24				ムカテ゚ノリ科				0					ļ		
25				7川科	7/17/1			0	$ \circ $						2
26			スギノリ目	イパラノリ科	イバラノリ属			0				-			
27				キジノオ科	イソタ゛ンツウ			0				0	ļ		2
28				オキツノリ科	オキツノリ			0	ļ						
29				スギノリ科	カイノリ	_		0							
30			イギス目	11* 7科				$\bigcirc$	$\lfloor Q \rfloor$		0	Q		ļ	4
31				フジ マツモ科	<u></u>			$\circ$	0			0		<u> </u>	3
32					ソゾ属	$\left  \begin{array}{c} 0 \end{array} \right $	L		0		Q	-		0	4
33 藍藻植物門 藍藻綱						$  \circ  $		0		0	0		$\downarrow \circ$	8	
34 珪藻植物門 珪藻綱								0	1.0		1.0		-	17	1
出現種類数						7	2	25	19	8	18	16	9	17	<u> </u>

#### 潮間帯生物出現一覧表(冬季·分類群別)